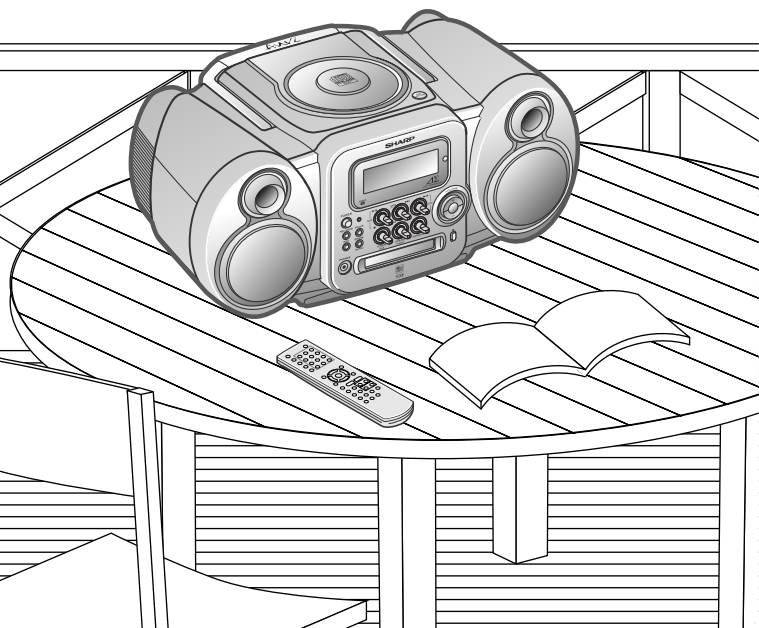
SHARP

1ビット MD/CD システム

エスディー　エフ エックス

形名 SD-FX20

取扱説明書 保証書付

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

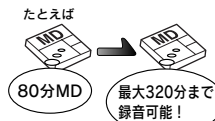
P.40

1枚のMDにたくさんの曲を録音したい

標準録音の2倍または、4倍の長時間録音が可能です。

P.19

アウトドアで使いたい

乾電池でも使えるので、キャンプなどのアウトドアでも楽しむことができます。**(再生のみ)**

P.42

短い時間で録音したい

CDからMDへハイスピード録音（約4倍速）することができます。

- CD-RWからの録音は、約2倍速になります。

P.31

迫力のある音で聞きたい

サウンドエンハンサーやサラウンド設定で音にメリハリや広がりがでます。

- この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

もくじ -1

ページ

☞ P.68

毎朝、音楽で目覚めたい

CD や MD などの再生音を
目覚ましがわりに使う
ことができます。

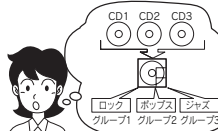
☞ P.52

たくさんの曲をわかりやすくまとめたい

歌手やアルバムごとに、
グループに分けて録音す
ることができます。

☞ P.70

家に居ないとき、ラジオの録音をしたい

留守中でもタイマー録音
を使って、ラジオ番組を録
音することができます。

☞ P.56

MD に曲名をつけたい

この製品で録音した MD に、ディ
スク名やグループ名、曲名をつけ
ることができます。
また、いろいろな編集もできます。

☞ P.74

他の MD の音を録音したい

外部入力端子にポータブル
MDなどをつなげば、再生音
を聞いたり録音することが
できます。

もくじ -2

ページ

グループ録音・再生
必要なときにお読みください。

編集
録音した MD に
タイトルをつける方法など
説明しています。

便利
おもにタイマー再生や
タイマー録音について
説明しています。

参考
特に、
Q&A や故障かな？の説明は、
しっかりと読んでおいて
ください。

よくあるご質問

グループ録音・再生
編集
便利
参考

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

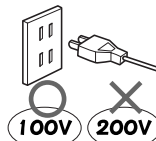
この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。

この記号は**してはいけない**ことを表しています。

この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠警告

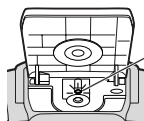
電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

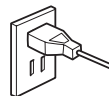
外国では使用しない

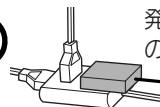
この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

CD ピックアップについて

CDピックアップの光源を直視しない

目を痛める原因となります。

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口など）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷について

雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないでください

感電の原因となります。

屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…
FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください

落雷の原因となります。

持ち運ぶときは

落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

異常が起きたら

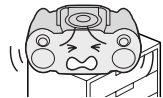
万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠注意

置き場所について

不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

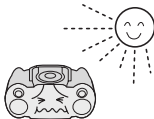
油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

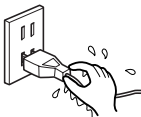
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内等、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

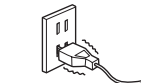
プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

特殊な CD について

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

CD を取り出すときは

再生を止めたあと、CD ブタを開けてください

けがをしたり、CD を痛める原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- **新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない**
- **金属小物（かぎ・装飾品ネックレス·コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**
- **水に濡らさない**
- **加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない**
- **分解しない**
- **ハンダ付けしない**
- **端子をショート（短絡）させない**
- **種類のちがう乾電池をまぜて使用しない**
- **充電池（ニカド電池等）は使用しない**

- **乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。**

- **乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを、表示どおり正しく入れてください。**

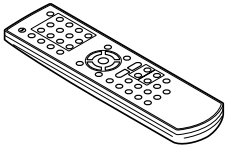
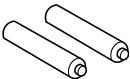
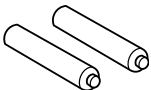
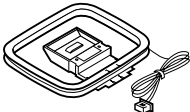
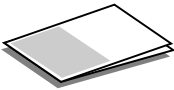
もし、液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜く

コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。(CDからMDに試し録音をするときは、ノーマルスピードで録音してください。)
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。(☞ P.89)
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

付属品について

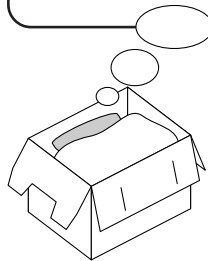
電源コード×1

リモコン送信機×1

単４乾電池×２
（リモコン用）

単３乾電池×２
（バックアップ用）

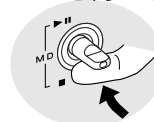
AM用ループアンテナ
×1

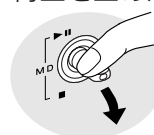
取扱説明書
（保証書付）×1

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

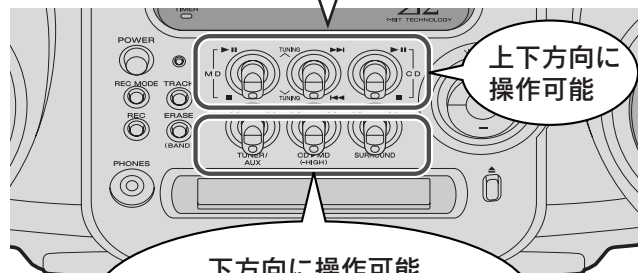
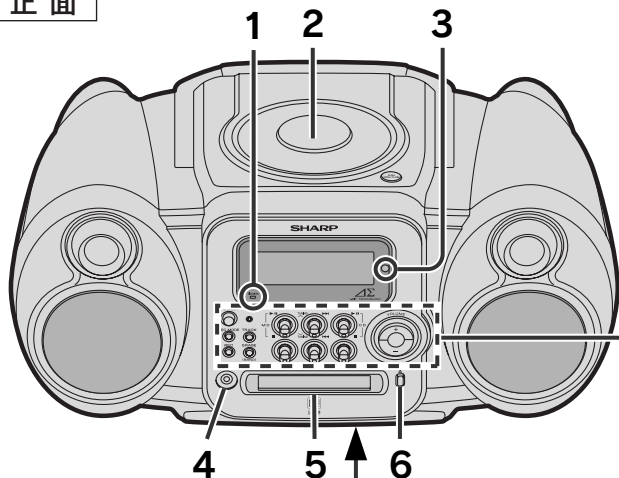
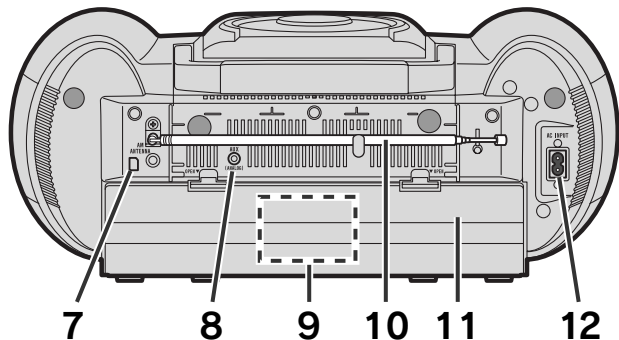
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本体操作レバーの使いかた

たとえば…

MDを再生したいときは（►II）

上方向に軽く押す。

再生を止めたいときは（■）

下方向に軽く押す。

ご注意
レバーは強く上げたり下げたりすると、故障の原因となります。軽く操作してください。

各部のなまえ

参照ページ

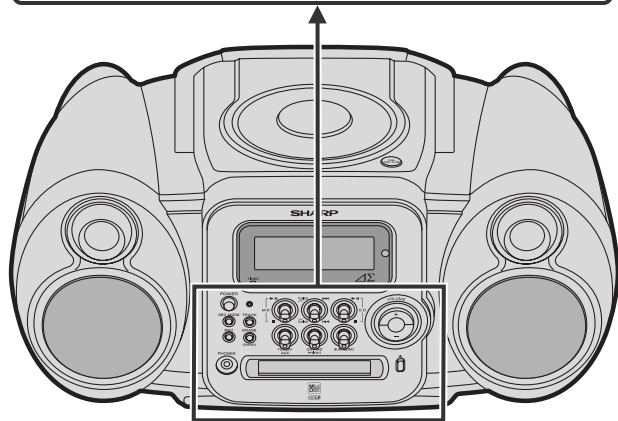
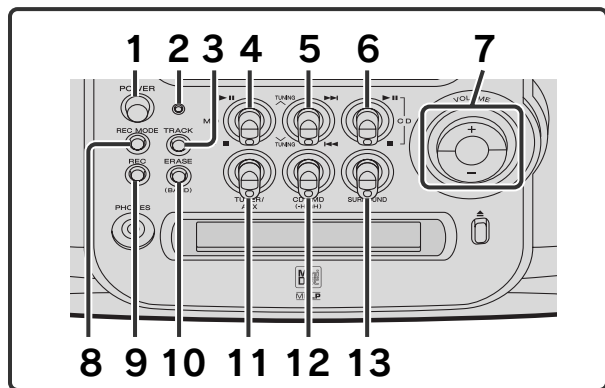
1. タイマー設定表示ランプ (TIMER) 69,71
2. CD ブタ 24
3. リモコンセンサー 16
4. ヘッドホン端子 (PHONES) 76
5. MD 挿入口 26
6. MD 取出しボタン (⏏) 27

操作部（☞ P.12）

定格ラベル（形名などの表示）は、
本体底面に貼付しています。

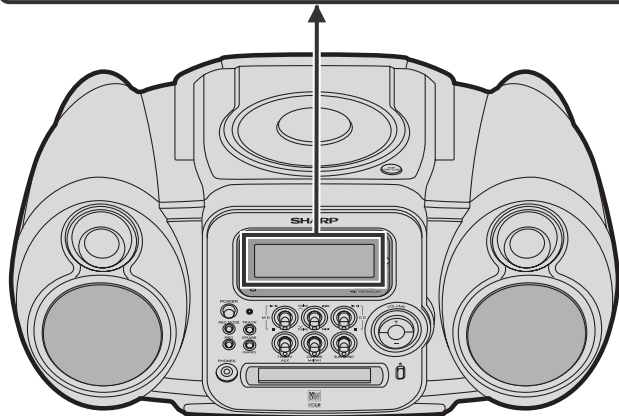
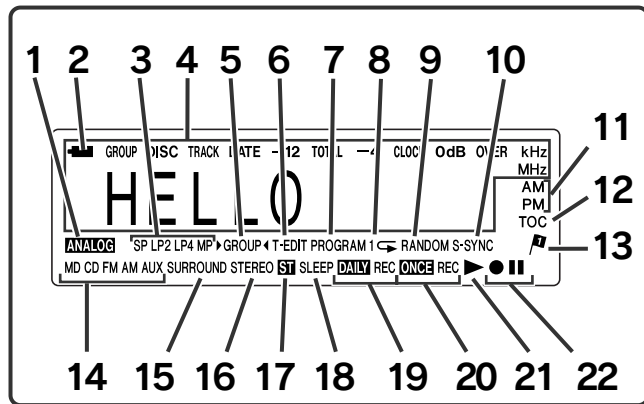
7. AM アンテナ端子 (AM ANTENNA) 29
8. 外部入力端子 (AUX ANALOG) 74
9. バックアップ用乾電池挿入位置 17
10. FM ロッドアンテナ 29
11. 乾電池ブタ 19
12. AC 電源ソケット (AC INPUT) 18

各部のなまえ（続き）

正 面（操作部）

参照ページ

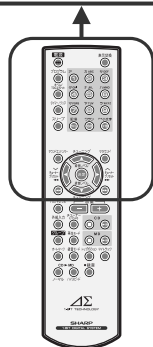
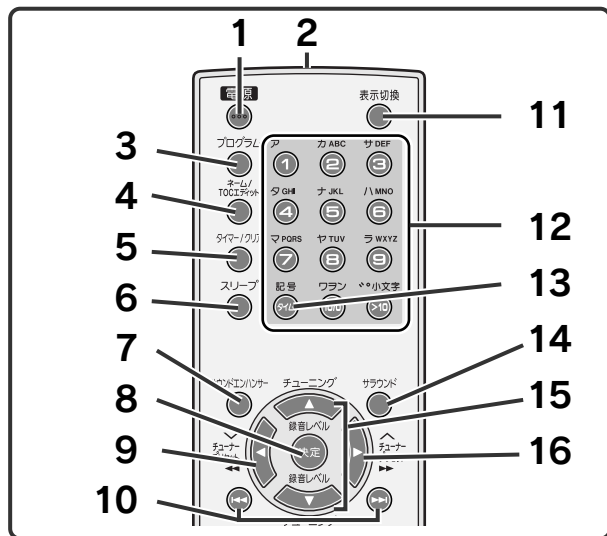
1. 電源スイッチ (POWER) 20
2. 電源表示ランプ 20
3. マイトラックエディット／デモ表示ボタン (TRACK) 21,46
4. MD 再生／一時停止／停止レバー (MD ▶❚❚/■) 26,27
5. CD・MD 早戻し、早送り、頭出し／チューニングレバー (❙◀◀/ ▶▶❙ TUNING ∨/∧) 25,27,28
6. CD 再生／一時停止／停止レバー (CD ▶❚❚/■) 24,25
7. 音量ボタン (VOLUME ＋ / −) 31
8. 録音モード切換ボタン (REC MODE) 42
9. 録音ボタン (REC) 44
10. 消去／バンド切換ボタン (ERASE/BAND) 28,51
11. チューナー／外部入力切換レバー (TUNER/AUX) 28,74
12. CD ▸ MD エディット（ノーマル／ハイスピード）レバー (CD ▸ MD -HIGH) 42
13. サラウンドレバー (SURROUND) 31

正 面（表示部）

参照ページ

1. アナログ録音表示（ANALOG）.................. 44
2. 乾電池使用表示 19
3. 録音モード表示（SP/LP2/LP4/MP）........... 40
4. 時間 / レベルメーター / 文字 / 周波数表示 ... 36
5. グループ表示（▶GROUP◀）........................ 52
6. トラックエディット表示（T-EDIT）........... 46
7. プログラム表示（PROGRAM）.................. 34
8. リピート再生表示（1）........................ 33
9. ランダム再生表示（RANDOM）................. 33
10. サウンドシンクロ録音表示（S-SYNC）......... 74
11. 午前／午後表示（AM/PM）....................... 23
12. トック表示（TOC）.................................. 39
13. トップポジションエディット表示（）..... 50
14. 入力切換表示（MD/CD/FM/AM/AUX）.... 24,26,28,74
15. サラウンド表示（SURROUND）................ 31
16. FM ステレオモード表示（STEREO）.......... 28
17. FM ステレオ受信表示（ST）..................... 29
18. スリープ表示（SLEEP）........................... 73
19. デイリータイマー再生 / 録音表示（DAILY REC）.... 69,71
20. ワンスタイマー再生 / 録音表示（ONCE REC）.... 69,71
21. CD/MD 再生表示（▶）........................ 24,26
22. 録音 / 一時停止表示（●❚❚）...................... 43

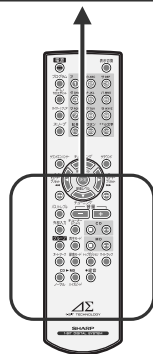
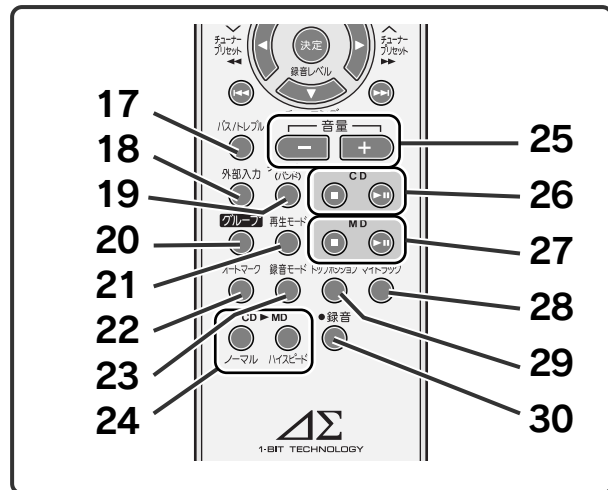
各部のなまえ

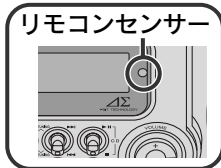
各部のなまえ（続き）

リモコン（上部）

参照ページ

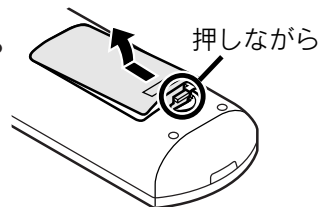
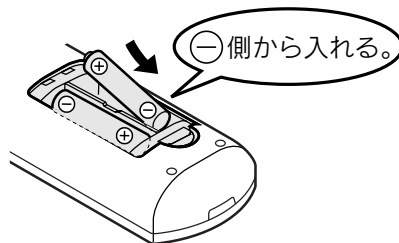
1. **電源ボタン** 20
2. **リモコン送信部** 16
3. **プログラムボタン** 34
4. **ネーム / トックエディットボタン** 56
   (MD にタイトルをつけたり、編集するときに使います。)
5. **タイマー / クリアボタン** 22,35,68,70
6. **スリープボタン** 73
7. **サウンドエンハンサー切換ボタン** 31
8. **決定ボタン** 22
9. **CD･MD早戻し/チューナープリセットダウン/カーソルボタン**
   (◀◀ / チューナープリセット ∨/◀) 25,27,30,56
10. **CD・MD 頭出しボタン** (|◀◀ /▶▶|) 25,27
11. **表示切換ボタン** 36,47
12. **文字入力 /CD・MD・チューナーダイレクトボタン** 30,32,57
13. **時間表示切換ボタン** 36
14. **サラウンドボタン** 31
15. **チューニング / 録音レベル調整ボタン**
    (▼チューニング / 録音レベル ▲) 28,75
16. **CD･MD早送り/チューナープリセットアップ/カーソルボタン**
    (▶▶/ チューナープリセット∧/ ▶) 25,27,30,56

リモコン（下部）

参照ページ

17. **音質切換ボタン**（バス / トレブル）............... 31
18. **外部入力ボタン** 74
19. **チューナー / バンド切換ボタン** 30
20. **グループボタン** 52
21. **再生モード切換ボタン** 33
22. **オートマークボタン** 49
    (録音するときに、曲番のつけかたを選ぶことができます。)
23. **録音モード切換ボタン** 40
24. **CD ▶ MD エディットボタン**
    (ノーマル / ハイスピード) 42
25. **音量ボタン**（＋、−）................................ 31
26. **CD 停止ボタン**（CD ■）............................. 25
    CD 再生 / 一時停止ボタン（CD ▶II）......... 25
27. **MD 停止ボタン**（MD ■）........................... 27
    MD 再生 / 一時停止ボタン（MD ▶II）........ 27
28. **マイトラックエディットボタン**................ 46
    (好きな曲を選んで録音するときに使います。)
29. **トップポジションエディットボタン**......... 50
    (すでに録音した MD の先頭の位置にあとから新しい曲を
    録音するときに使います。)
30. **録音ボタン** 44

リモコンに乾電池を入れる

リモコン用乾電池の交換時期は？

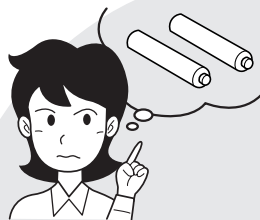
通常のご使用で約１年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは､乾電池を交換してください。

❶ フタを開ける。

❷ 単４乾電池を２本入れる。

乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。

❸ フタを閉める。

お知らせ

- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電池では正しく動作しません。
- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。操作ができなくなります。

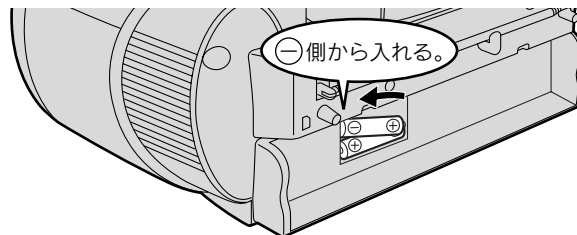
本体にバックアップ用の乾電池を入れる

バックアップ用
乾電池は
何のために
入れるの？

停電したときや、電源コードを抜いたとき、本体用乾電池が消耗したときに、バックアップ用乾電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。

内容	乾電池あり	乾電池なし
時計の時刻	保持	約１分たつと消える
タイマーの設定	保持	約１分たつと消える
ラジオ放送局の登録	保持	約１日たつと消える

バックアップ用乾電池の交換時期は？

通常のご使用で約３ヵ月です。
乾電池が消耗すると、登録や設定した内容が保持されません。

バックアップ用乾電池を交換するときは
古い乾電池を取り外し、１分以内に行ってください。
１分以上たつと、登録や設定した内容が消えてしまいます。

❶ 乾電池ブタを開ける。

❷ 単３乾電池を２本入れる。

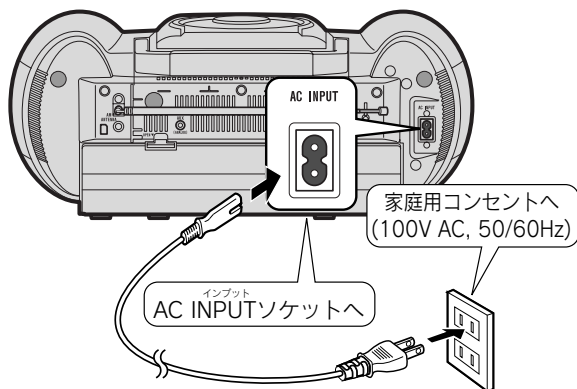
乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。

❸ 乾電池ブタを閉める。

お知らせ
充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
充電池では正しく動作しません。

電源コードで使う

❶ 本体の POWER ◯ を押し、電源が切れていることを確かめる。

❷ 電源コードをつなぐ。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。

停電があったときのために

バックアップ用乾電池を入れておくと、停電になったり、電源コードを抜いても、登録した放送局などの設定を保持します。（☞ P.17）

ご注意

- 電源コードを抜くときは、**本体の電源を切ってから**プラグを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。
- プラグは確実に差し込んでください。
- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。** 故障や事故の原因となります。

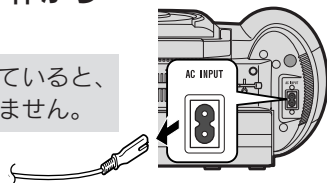
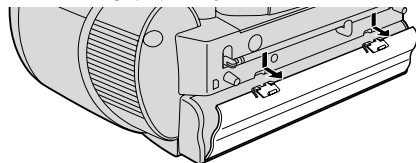
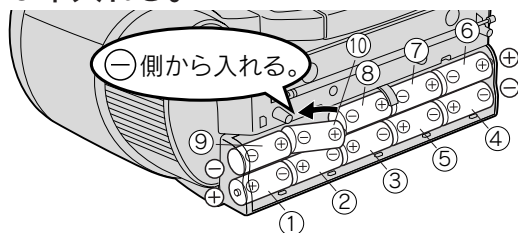
お知らせ

- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品をテレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品が誤動作したり、雑音が入ったりすることがあります。
  そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。

乾電池で使う

乾電池では録音や編集はできません。

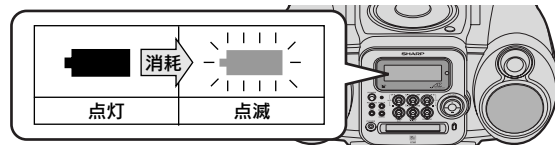
1 **電源コードを本体から抜く。**

コードが接続されていると、乾電池では動作しません。

2 **乾電池ブタを開ける。**

3 **市販のアルカリ単2乾電池（LR14）を10本入れる。**

乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。

4 **乾電池ブタを閉じる。**

乾電池の交換時期は？

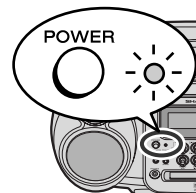
この製品を乾電池で使用しているときは、乾電池使用表示が点灯します。

点滅を始めたら、早めに新しい乾電池と交換してください。

Battery Low

⇩

電源が切れます。

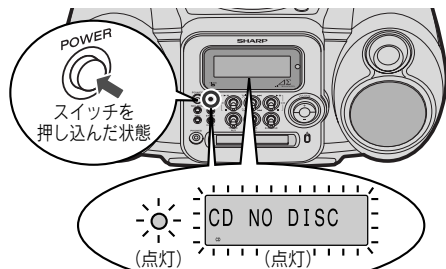
⇩

電源表示ランプ(-☼-)が点滅を開始します。

本体の POWER ◯ を押して、スイッチが出た状態にしてください。（電源表示ランプが消灯します。）

お知らせ

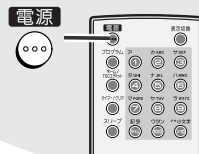
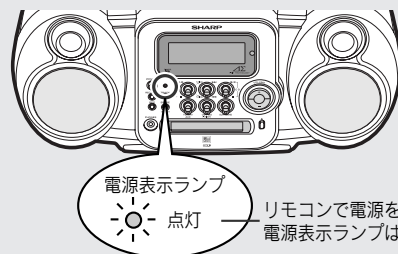
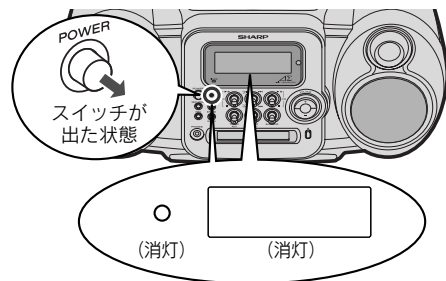
- バックアップ用乾電池の消耗状態は表示されません。
- **乾電池から電源コードに切り換えるときは、一度、本体の POWER ◯ を押し、電源を切ってください。**
  乾電池で動作中に電源コードをつなぐと、故障の原因になります。
- 充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。
  また、マンガン電池を使用すると、乾電池で使用できる時間が短くなりますので、**アルカリ乾電池を使用することをおすすめします。**

電源を入れる

1 本体の電源を入れる

本体の電源を
入れておくと…

2 電源表示ランプ点灯中は、リモコンでも電源を入・切りできます。

リモコンで電源を切っても、
電源表示ランプは消えません。

電源

3 本体の電源を切る

使用後は…

ご注意

乾電池で使用するときは、本体の電源スイッチで電源を切ってください。リモコンの電源ボタンで電源を切っただけでは、電池を消耗しています。

お知らせ

- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、乾電池が正しく入っているか、確認してください。
- 電源を切ったあとの２～３秒は、すぐに電源が入りません。

表示の設定を切り換える

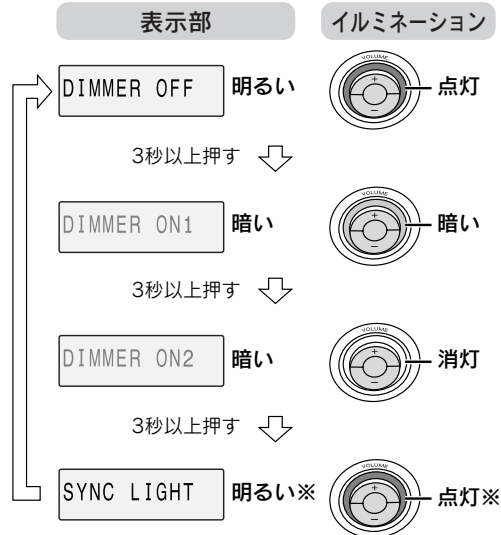
お買いあげ時は、デモ表示は解除されています。

表示の明るさを変えたいとき（4段階）

電源を入れて、

表示切換 を3秒以上押す。

押すたびに次のように切り換わります。

表示部		イルミネーション	
DIMMER OFF	明るい		点灯
3秒以上押す ⇩			
DIMMER ON1	暗い		暗い
3秒以上押す ⇩			
DIMMER ON2	暗い		消灯
3秒以上押す ⇩			
SYNC LIGHT	明るい※		点灯※

※音に合わせて光ります。

デモ表示中に明るさを変えることはできません。

デモ表示に設定したいとき

はじめに本体の POWER を押し、電源を切ります。
（電源を切った状態で操作します。）

⇩

デモ表示にするには（設定）

電源表示ランプが消灯しているときに、

TRACK を4秒以上押す。

<<DEMO>>

デモ表示をやめるには（解除）

デモ表示中に、TRACK を押す。

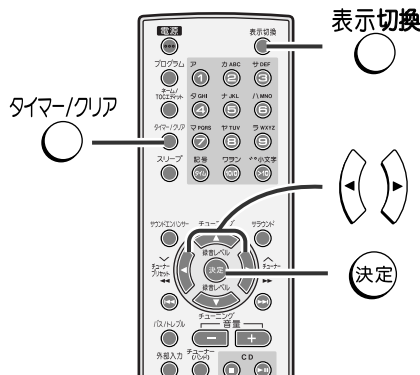
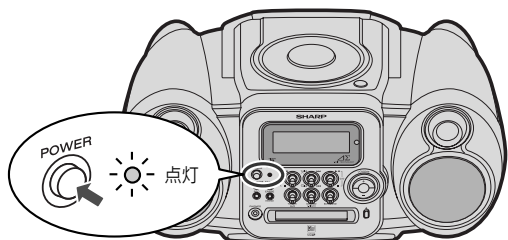
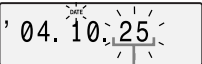
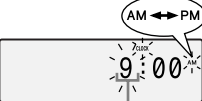
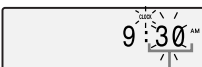
リモコンの マイトラック を押しても、入・切りができます。

お知らせ

乾電池で使用しているときは、デモ表示の設定はできません。

電源を入れる／表示の設定を切り換える

時計を合わせる

日付・時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマーが使用できるようになります。(☞ P.68、70)
また、録音したとき、録音日時が自動的に MD へ記録されます。(録音日時 ☞ P.36)

(例) 2004 年 10 月 25 日　午前 9 時 30 分に合わせるとき

この製品の時計（年・月・日）は、2000年1月1日～2099年12月31日まで対応しています。

時刻を確認するには

電源が入っているとき

1. リモコンの タイマー/クリア を押す。

2. ◀ または ▶ で時刻表示を選ぶ。

約1分表示されて、もとの表示に戻ります。
すぐにもとの表示に戻すには、もう一度 タイマー/クリア を押します。

リモコンを使って電源を切っているとき

リモコンの 表示切換 を押す。

時刻が約5秒表示されます。

お知らせ

本体の電源を切っているときは、時刻を確認することはできません。

時刻を修正するには

時計合わせの操作を始めからやり直します。
操作2では“TIME ADJUST（タイム アジャスト）”のかわりに“ONCE TIMER（ワンス タイマー）”が表示されますので、◀ または ▶ で時刻表示を選んでください。

CD を聞く

印刷面を上に

ふたの開け閉めは
この部分を押す。

PUSH
OPEN/CLOSE

1 POWER 押す

電源を入れる。

2

CDを入れる。

音楽用CD-Rや
CD-RWも再生できます。
(☞ P.77)

3 下げる CD

入力を「CD」にする。

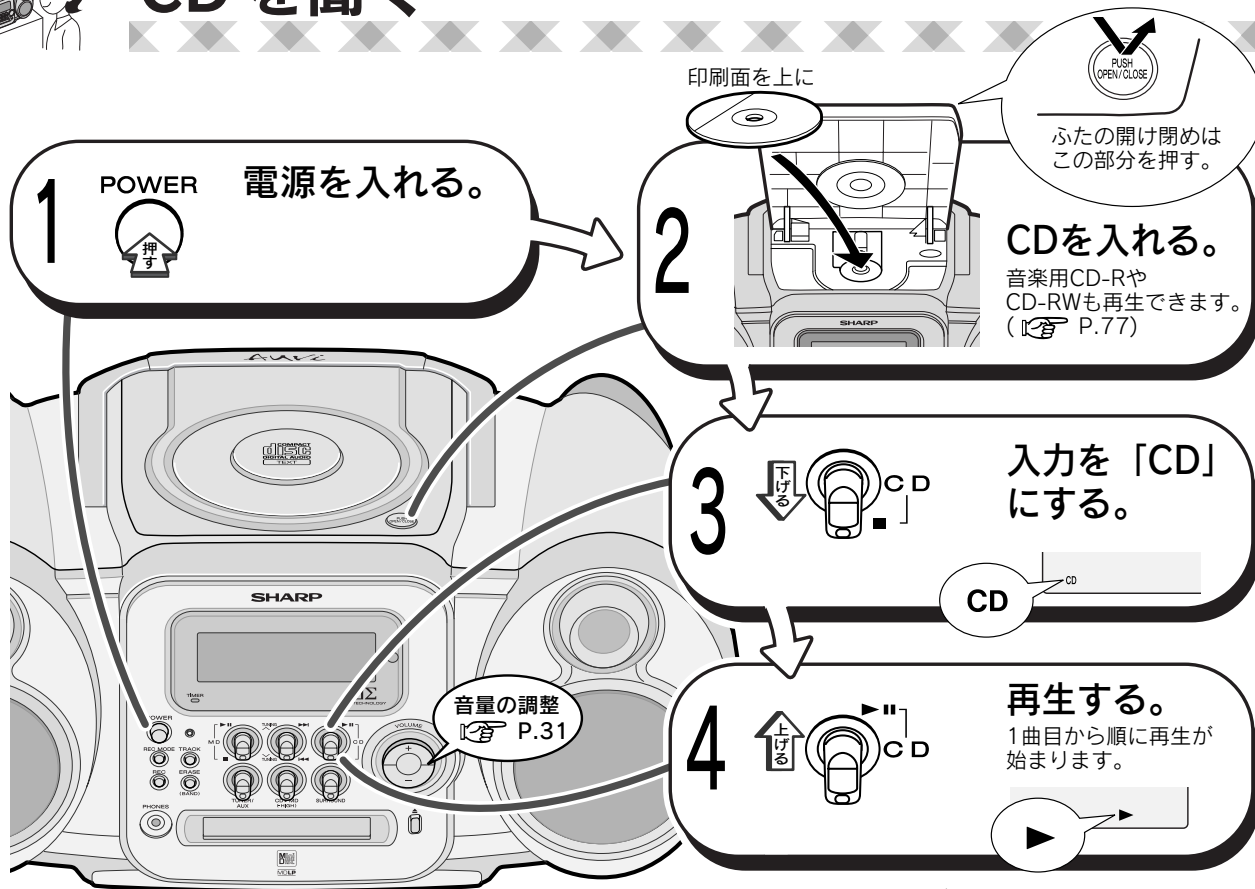
CD

4 上げる ▶II CD

再生する。

1曲目から順に再生が
始まります。

▶

音量の調整
☞ P.31

最後の曲の再生が終わると、停止します。

CDのいろいろな操作

	本　体	リモコン	
再生	⇧ ►II CD	CD ►II	再生します。
停止	⇩ CD ■	■ CD	停止します。
一時停止	⇧ ►II CD	CD ►II	**再生中に操作する。** 一時停止中に操作すると、再生になります。
曲の頭出し	⇧ TUNING ►►I ⇩ TUNING I◄◄	I◄◄　►►I	**再生中に操作する。** 停止中に操作すると、曲番を選ぶことができます。
	（例：再生中のとき） 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押す　選んだ曲の頭から再生		
早送りや早戻し	⇧ TUNING ►►I ⇩ TUNING I◄◄ 上げ（下げ）続ける	◄◄　►► 押し続ける	**再生中に操作する。** 指を離すと、その位置から再生します。
	（例：早送りのとき） 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押し始め　離す（通常の再生に戻る）		

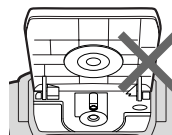
CDの取り出しかた

❶CDを停止させる。

❷回転が止まるのを待つ。（3～4秒）

❸CDブタを開ける。

ご注意

再生しているときにCDブタを開けないでください。
CDを傷めたり、故障の原因となることがあります。

お知らせ

- 本体に衝撃を与えたり、振動しやすい場所で使うと、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- CDの内容によっては、音量の上げすぎで音とびを起こすことがあります。そのときは、音量を少し下げてお聞きください。
- キズがついていたり、汚れているCDを使うと、音とびの原因となります。

CDテキスト対応だから…

文字情報が記録されていれば、ディスク名や曲名が表示されます。

MDを聞く

1 POWER 押す 電源を入れる。

2 MD 下げる 入力を「MD」にする。

MD

3 矢印マークの方向に入れる。

MDを入れる。

ベストヒット ⇒ 12 58:23

ディスク名があるとき表示

総曲数

総再生時間

4 MD 上げる 再生する。

1曲目から順に再生が始まります。

▶

音量の調整 P.31

最後の曲の再生が終わると、停止します。

MDのいろいろな操作

	本　体	リモコン	
再生	MD ►II	MD ►II	再生します。
停止	MD ■	■ MD	停止します。
一時停止	MD ►II	MD ►II	**再生中に操作する。** 一時停止中に操作すると、再生になります。
曲の頭出し	TUNING ►►I / TUNING I◄◄	I◄◄ ►►I	**再生中に操作する。** 停止中に操作すると、曲番を選ぶことができます。
	(例：再生中のとき) 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押す ↳選んだ曲の頭から再生		
早送りや早戻し	TUNING ►►I / TUNING I◄◄ 上げ（下げ）続ける	◄◄ ►► 押し続ける	**再生中に操作する。** 指を離すと、その位置から再生します。
	(例：早送りのとき) 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 押し始め 離す(通常の再生に戻る)		

MDの取り出しかた

❶MDを停止させる。

❷ ⏏ を押す。

ご注意

- MDを入れるときは、必ず電源を入れておいてください。
  電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。
- 製品を移動させるときは、必ずMDを取り出し、電源を切ったあとで電源コードを抜いてください。
  MDを入れたまま移動させると、MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

お知らせ

- 使用中は、MDが温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動ではとぎれることがあります。

MDLP対応だから…

モノラル長時間録音や2倍・4倍長時間（ステレオ）で録音された曲も再生できます。

ラジオ放送を聞く

1 POWER 電源を入れる。

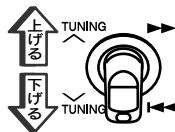
2 TUNER/AUX 「FM（またはAM）」を表示させる。

FM(AM)←→AUX

FMまたはAM

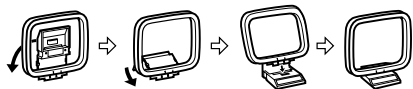
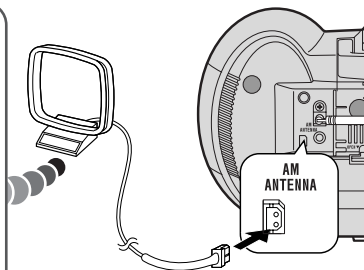
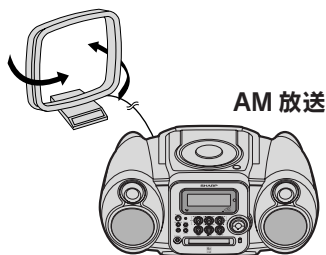
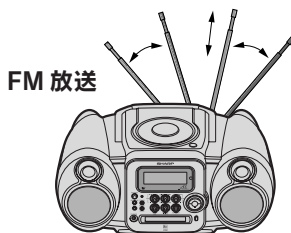
3 ERASE (BAND) ラジオバンドを切り換える。（くり返し押す）

FMステレオ	FMモノラル	AM
76.0 MHz	76.0 MHz	1098 kHz
FM STEREO	FM	AM

4 TUNING 放送局を選ぶ。

手動同調： レバーを小きざみに動かして、希望する放送局を受信します。

自動同調： レバーを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。

AM用ループアンテナをつなぐ

接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

アンテナを調整するには

AM用ループアンテナで調整します。
できるだけ本体から離れた位置で、方向を変えてください。

FMロッドアンテナで調整します。
長さや方向を変えてください。

FMステレオ放送を受信すると

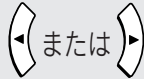
FMステレオモードを選んでいるときに、FMステレオ放送を受信すると、“ST”が点灯します。

ST 78.0 MHz
FM STEREO ST

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ST”が点灯しません。
放送が聞きとりにくいときは、FMモノラルモードに切り換えて受信すると、聞きやすくなります。

TV音声について

- テレビの1～3チャンネルの音声が聞けます。(FM 95.75 MHz、FM 101.75 MHz、FM 107.75 MHz)
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。
  このため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。

お知らせ

- AM用ループアンテナは、本体や電源コードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  このときは、手動同調をお使いください。

放送局を登録して聞く

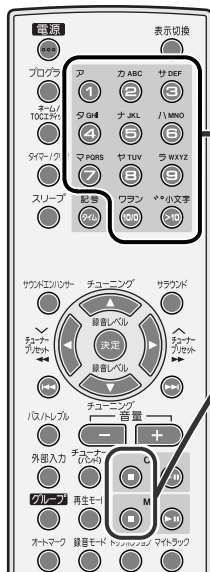
AM 放送と FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも登録されます。

■放送局を登録するには

■登録した放送局を呼び出すには

音量や音質をお好みに合わせる

CD や MD の曲番を選んで聞く （ダイレクト選曲）

1 CDを聞くとき ■ CD　MDを聞くとき ■ MD

聞きたい方を選ぶ。

2 ①～>10

聞きたい曲番を指定する。

指定した曲から再生が始まります。

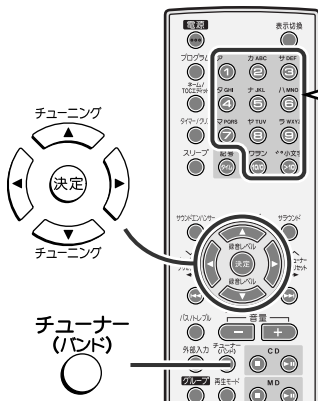
曲番 — 5 TRACK 0:05

11 曲目以降の曲番の選びかた

11 ～ 99 曲目を指定するときは、>10を押して指定する。

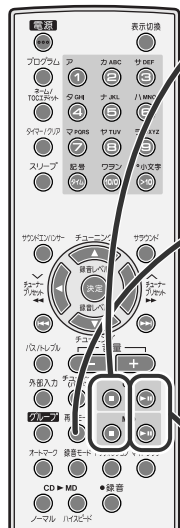
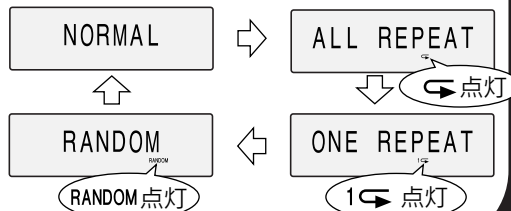
例）28 曲目　>10 → ② ⑧

100 曲目以降（MD のみ）は、>10を 2 回押して指定する。

例）105 曲目　>10 >10 → ① ⓪ ⑤

続けて押すときは、5秒以内に次のボタンを操作してください。

お知らせ

ランダム再生 (☞ P.33) やプログラム再生 (☞ P.34) を設定しているときは、ダイレクト選曲することはできません。

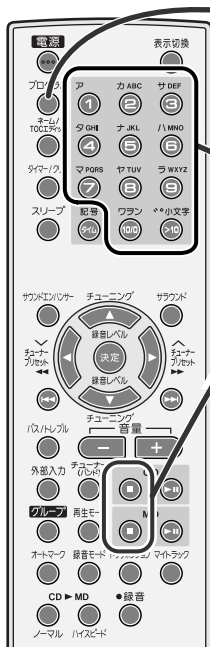
CDやMDを**くり返して聞く・順不同で聞く**（リピート再生・ランダム再生）

ノーマル再生（NORMAL）	全曲を再生したあと、停止します。
全曲リピート再生（ALL REPEAT）	全曲をくり返し再生します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 停止するまでくり返す
1曲リピート再生（ONE REPEAT）	1曲をくり返し再生します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 停止するまでくり返す
ランダム再生（RANDOM）	全曲を順不同に再生したあと、停止します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 E曲 6 F曲 7 G曲 8 H曲 順不同に再生

お知らせ

- **リピート再生は止めるまで続きます。お聞きになったあとは、停止してください。**
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。
- プログラム再生を設定しているときは、再生モードを押しても、ランダム再生を選ぶことはできません。
- MDのリピート再生やランダム再生の設定は、MDの録音操作をすると、解除されます。

CDやMDの好きな曲だけを登録して聞く（プログラム再生）

CDとMDは別々に、
それぞれ20曲まで選べます。

1 CDを聞くとき　■CD　MDを聞くとき　■MD　**聞きたい方を選ぶ。**

2 プログラム　**押す。**

PROGRAM点滅

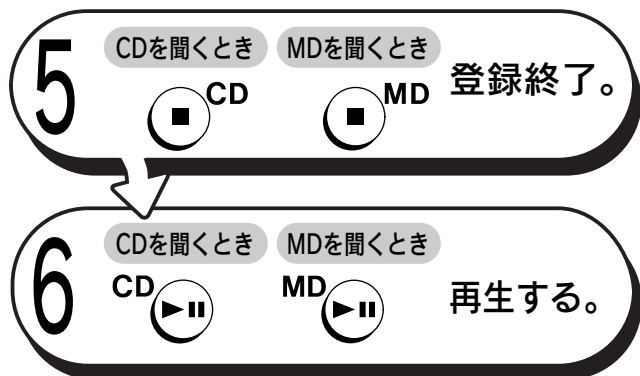
登録モード

3 ①〜>10 **登録したい曲番を指定する。**

曲番の選びかた（☞P.32）

曲番　プログラム番号　再生時間

ヒント

4 **3の操作をくり返し、登録したい曲番を順に指定する。**

最後に登録している曲の再生が終わると、停止します。

ヒント

1. **曲名を確認しながら登録するときは**
   ①～⑩を使うかわりに⏮または⏭を押して、曲番を選び、プログラム ◯ を押します。
2. **登録中に曲番を間違えたときは**
   タイマー/クリア ◯ を押します。
   続けて押すと、順に取り消されます。

登録した順番を確かめるには

停止中に、⏮または⏭を押す。

曲を追加するには

1～5の操作をくり返します。
前に選んでいる曲のあとに追加されます。

登録をすべて取り消すには

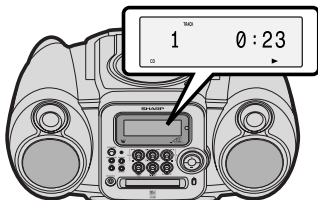
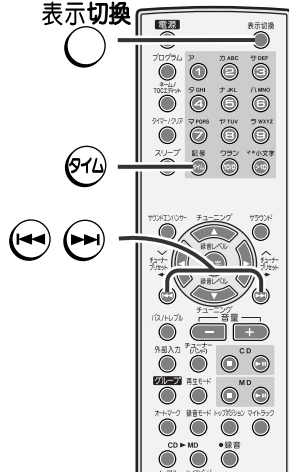
1. ■CD または ■MD を押す。(取り消したい方を選ぶ。)
2. タイマー/クリア ◯ を3秒以上押す。
   CDまたはMDの全曲の登録が取り消されます。

聞きたい曲だけをくり返して聞くには

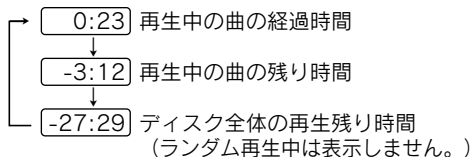
プログラム再生をしたあとに、リピート再生をします。
(☞ P.33)

お知らせ

- **CDやMDを取り出すと、登録は解除されます。**
- MDの録音操作をすると、MDの曲の登録は解除されます。
- MDの曲を登録するとき、表示部に“▶GROUP◀(グループ)”が点灯したら、消灯させてください。(☞ P.54)
- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり取り消すことはできません。
- CDの曲を登録しておけば、好きな曲だけをMDに録音することができます。

CD や MD の表示内容を切り換える

を使って切り換える

CD や MD の再生中にくり返して押すと…

- 0:23 再生中の曲の経過時間
- -3:12 再生中の曲の残り時間
- -27:29 ディスク全体の再生残り時間（ランダム再生中は表示しません。）

CD や MD の停止中に切り換えるには…

❶ ⏮ または ⏭ を押して曲番を選ぶ。

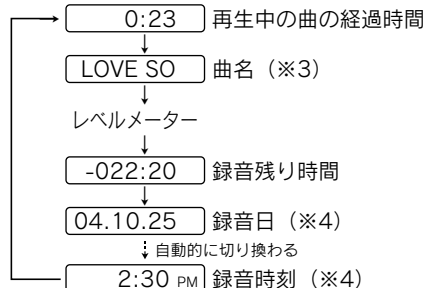
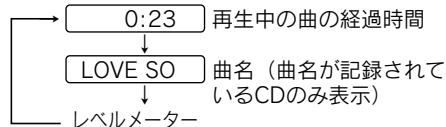
3:27 選んだ曲の再生時間（※1）

❷ タイム を押す。

-24:17 選んだ曲以降の総再生残り時間（※2）

もう一度押すと❶の表示に戻ります。

表示切換 を使って切り換える

MD の再生中にくり返して押すと…

CD の再生中にくり返して押すと…

お知らせ

（※ 1）曲名が記録されているときは、曲名を数秒間表示します。
（※ 2）グループ録音した MD のときは、選んだグループの総再生残り時間を表示します。
（※ 3）曲名が記録されていないときは、“NO NAME（ノー ネーム）” と表示します。
（※ 4）再生専用MDは表示しません。

- この製品に表示される時間は、ジャケットに記載されている時間や実際に時計で計った時間とは、異なることがあります。

録音する前に

試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。（CDからMDに試し録音するときは、ノーマルスピードで録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

MDの4倍長時間録音(LP4)についてのご注意

4倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方法によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。
音質を重視する録音を行うときには、ステレオ（SP）または2倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

- 2倍・4倍長時間録音をした曲は、2倍・4倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
(☞P.86)

ご注意

テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。
録音に雑音が入ることがあります。
そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。

お知らせ

- 録音中に、音量・音質・サウンドエンハンサー・サラウンドを調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。音とびを起こす原因となります。
- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。
- MDに録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。（録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。）

ハイスピード録音について

この製品は、CDからMDへ録音をするとき通常の4分の1の時間で録音することができます。(CD-RWから録音するときは、2分の1になります。)
ハイスピード録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

「著作権保護を目的とした制約」

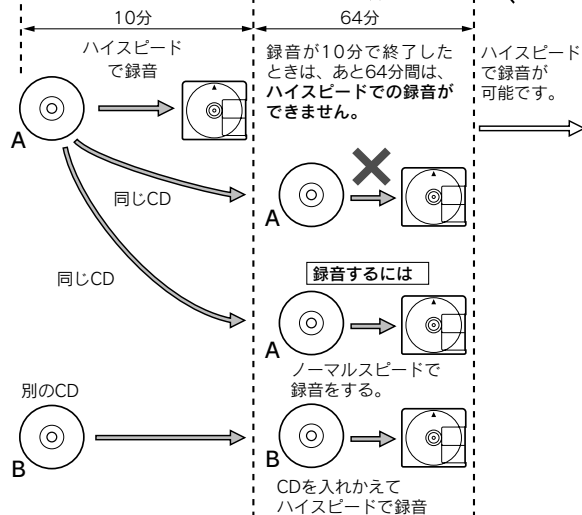
CDからMDへ一度ハイスピード録音をしたあと、再び同じCDからハイスピード録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

同じCDは、1回目のハイスピード録音を開始してから、74分経過した後で2回目のハイスピード録音が開始できます。

たとえば、CDからMDへのハイスピード録音が10分間で終了した場合、再び同じCDからハイスピード録音をするときには、64分間お待ちいただくことになります。

お待ちいただく時間（64分）

同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、ノーマルスピードで録音してください。

次のようなときも、74分間は、ハイスピードで録音をすることができません。
- ハイスピード録音を途中で止めたり、1曲でもハイスピード録音したCDから、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDからハイスピード録音したあと、21枚目を録音しようとしたとき。

- ハイスピード録音中は、音は聞こえません。
- CDによっては、ハイスピード録音の時間に誤差が生じる場合があります。

MDのTOC(トック)(Table of Contents)について

録音や編集をすると、画面に“TOC(トック)”が表示されます。

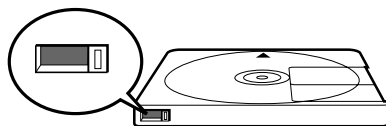
TOCとは、曲番や音声を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

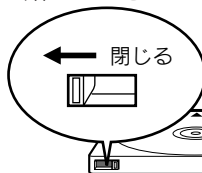
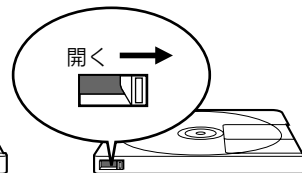
“TOC”表示	意　味	
TOC 表示中	録音や編集によって、TOCの情報が変更されていることを表しています。 **録音や編集した情報は、MDには記録されていません。**	未登録
TOC 点滅中	録音や編集した情報をMDに記録中です。 **このようなときに記録されます。** ● 録音を停止したとき ● 入力を切り換えたとき ● MDを取り出したとき ● 電源を切ったとき	記録中
消灯	**録音や編集した情報がMDに記録されました。**	記録完

ご注意

録音中や“TOC(トック)”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、録音や編集した情報が記録されません。

MDの誤消去防止について

録音／再生用MDには、誤消去防止用のツマミがついています。

何のためについているの？

誤消去防止用ツマミを開いておくと、“PROTECTED(プロテクテッド)”と表示され録音や編集ができないようになっています。
そのため、大切な録音を誤って消さないようにすることができます。

録音する前に（続き）

録音モードや録音残り時間について

「録音モード」って何ですか？

SP、LP2、LP4、MPの４種類の方式があり、
最大４倍の長時間録音ができます。

表示	録音モード	録音時間（80分のMDの場合）
SP	標準録音（ステレオ）	最大80分（標準）
LP2	２倍長時間録音（ステレオ）	最大160分（標準録音時間の２倍）
LP4	４倍長時間録音（ステレオ）	最大320分（標準録音時間の４倍）
MP (MONO)	モノラル録音	最大160分（標準録音時間の２倍）

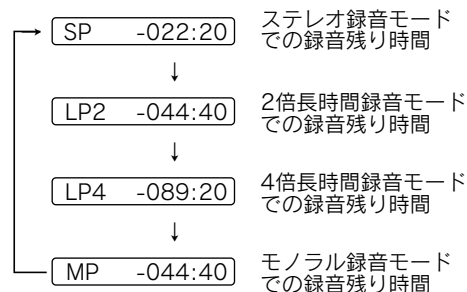
こんなときに便利です。

・２枚のCDを１枚のMDに録音する。
・４時間のラジオ放送を１枚のMDに録音する。

一度設定したあとは？

次に変更するまで変わりません。

録音モードの切り換えかた

録音モードを切り換えたとき、MDの録音残り時間を確かめることができます。

● 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
● 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

お知らせ

録音中は録音モードの切り換えはできません。

CDからMDへのいろいろな録音方法

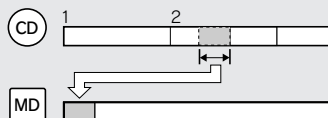
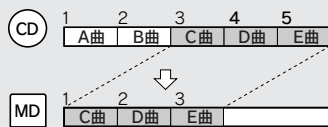
録音に使うボタン

CDを1曲目から
まるごと録音したい

CD ▶ MDエディット
☞P.42

CDの曲の途中を
録音したい
(曲のサビなど…)

マニュアル録音
☞P.44

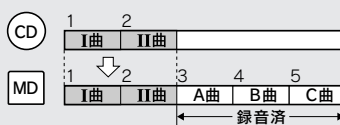
●録音

CDの途中の曲
から録音したい
(例えば、3曲
目から…)

シンクロ録音
☞P.45

CDの好きな曲
だけを録音したい

マイトラックエディット
☞P.46

すでに録音されて
いるMDの先頭に
新しい曲を録音し
たい

トップポジションエディット
☞P.50

(ラジオ) ●録音

CDの1曲目からまるごと録音する（CD ▶ MDエディット）

はじめに: 1. 電源コードをつなぐ。
2. 電源を入れる。
3. 録音したいCDを入れる。
4. 録音用MDを入れる。

1 下げる 「CD」 入力を「CD」にする。

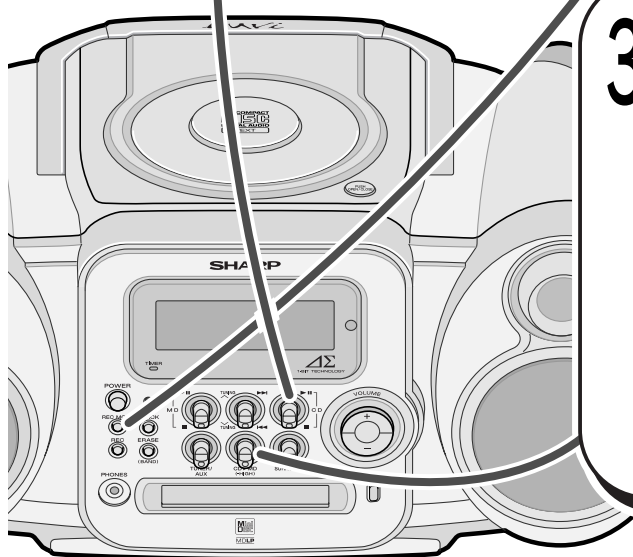
2 REC MODE 押す 録音モードを選ぶ。
（☞ P.40）

3 録音を開始する。

ヒント

定速で録音（ノーマルスピード）	4倍速で録音（ハイスピード）

「WAIT-＊＊m」と表示されたら、しばらくお待ちください。（☞ P.38）

- CDの1曲目から順番に録音が始まります。
- リモコンで録音を始めるときは、ノーマルまたはハイスピードを押します。
- “Can't COPY”（キャント コピー）と表示されたら、アナログモードで録音してください。（☞ P.44）

CDの再生が終わるか、MDの録音残り時間がなくなると、CDとMDは停止します。

電源コード使用時のみ
（乾電池では録音できません）

録音操作をしたのに、こんな表示が出たときは？

これは、CDの全曲が録音できないことを表しています。
（録音できない曲数や時間をもう一度確かめるには、タイムを押します。）

この表示が出たあとに…

録音できる曲だけ録音するとき

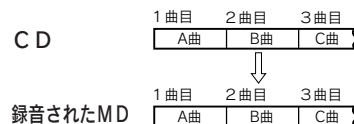
録音しないとき

録音を停止するには

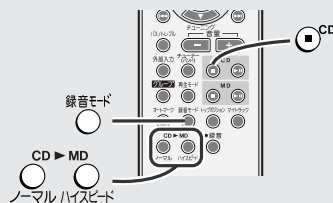
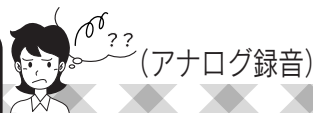
CDとMDが停止したあと、
MDに曲番を書き込みます。

リモコンで操作するときに使うボタン

曲番について

	1曲目	2曲目	3曲目
CD	A曲	B曲	C曲
録音されたMD	A曲	B曲	C曲

- CDと同じ位置に曲番がつきます。
- CDによっては、CDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

お知らせ

- **ハイスピードで録音中は音は聞こえません。** このとき、音量や音質などを操作すると“MUTING（ミューティング）”と表示します。
- CDまたは、CD-R/RWディスクから、MDへハイスピードで録音したときは、ディスクの記録状態によっては、正常に録音されないことがあります。そのときは、ノーマルスピードで録音ください。
- CDによっては、4倍速録音（または2倍速録音）の時間に誤差の生じる場合があります。

"Can't COPY" が出たときは（アナログ録音）

CD-R や CD-RW から MD へ録音するときに、"Can't COPY" と表示されることがあります。これは著作権保護を目的として、デジタル録音を制限するものです。
そのときは、次のようにアナログ方式で録音してください。

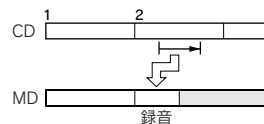
	ボタン	操作
1	CD ■	入力を「CD」にする。
2	録音モード	録音モードを選ぶ。（☞P.40）
3	●録音	録音の待機状態にする。
4	録音モード	3 秒以上押して、"ANALOG" を点灯させる。 ANALOG アナログ録音表示
5	CD ▶II	録音を開始する。

録音を停止するには、[MD ■]を押す。

お知らせ

- [ノーマル] や [ハイスピード] を押しても、アナログ録音することができません。
- 「CD」から他の入力に切り換えたり、電源を切ると、録音の設定はデジタルに戻ります。（"ANALOG" が消灯）

CDの曲の途中から録音する（マニュアル録音）

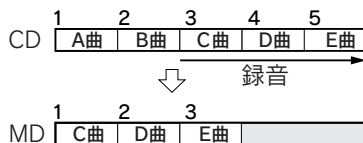
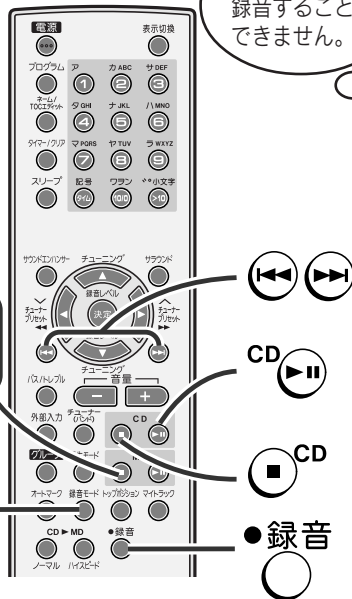
曲の途中から、好きな場所だけを録音することもできます。

	ボタン	操作
1	CD ▶II	CDを再生中に、録音したいところで一時停止する。
2	録音モード	録音モードを選ぶ。（☞P.40）
3	●録音	録音の待機状態にする。
4	CD ▶II	録音を開始する。

録音を停止するには、[MD ■]を押す。

お知らせ

[ノーマル] や [ハイスピード] を押しても、マニュアル録音することができません。

CDの曲番を選んで録音する（シンクロ録音）

CDの途中の曲を選んで、その曲以降をMDに録音することができます。

CDの再生が終わるとMDは、録音の待機状態になります。

お知らせ

- [ノーマル] や [ハイスピード] を押すと、途中の曲から録音することができません。1曲目からの録音になります。
- [● 録音]を使って録音するときは、自分で曲番をつけることができます。
  録音中に、好きな所で[● 録音]を押してください。
  （曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）

CDの好きな曲を登録して録音する（マイトラックエディット）

CDの好きな曲だけを登録して、登録した順番に録音することができます。（最大20曲）

1. 入力を「CD」にする。
2. 録音モードを選ぶ。（☞P.40）
3. 録音したい曲番を選ぶ。
4. 押す。

5. 操作3～4をくり返す。

21曲以上を選曲すると、“EDIT OVER”が表示されます。

6. 録音する。
（[ノーマル]または[ハイスピード]を押す。）

全曲録音できないときは、“OVR”が表示され録音は始まりません。
（☞ P.43）

録音が終わると、曲の登録は消えます。

録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

1曲ずつ消すときは

消したい曲を選んで、**[マイトラック]**を押す。
（曲番の“♪”マークを消灯させます。）

全曲消すときは

[CD ■]を押す。

CDを聞きながら登録するには

1. **録音したい曲の再生中に、[マイトラック]を押す。（最大20曲）**
2. **登録が終わったら、[CD ■]を押す。**
3. **[ノーマル]または[ハイスピード]を押して、録音を開始する。**

お知らせ

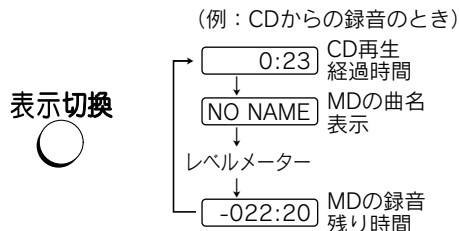
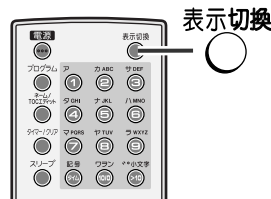
- マイトラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。
  他の入力にしたいときは、[CD ■]を押して選曲を解除してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。
  設定を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを使用すると、リピート再生が解除されます。

録音中の表示を切り換える

録音中に**[表示切換]**をくり返して押す。

表示切換

（例：CDからの録音のとき）

0:23 CD再生経過時間
↓
NO NAME MDの曲名表示
↓
レベルメーター
↓
-022:20 MDの録音残り時間

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
  録音を停止すると、もとの表示に戻ります。
- 録音モードを「MP（MONO（モノラル））」にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

ラジオ放送を録音する

はじめに: 1. 電源コードをつなぐ。
2. 電源を入れる。
3. 録音用 MD を入れる。
4. 録音したい放送局を受信する。
(☞P.28)

1 REC MODE 押す 録音モードを選ぶ。(☞P.40)

2 オートマークを設定する。(☞P.49)

ヒント

3 REC 押す 録音の待機状態にする。

78.0 MHz FM STEREO ST ●II

4 MD ►II 上げる 録音を開始する。

78.0 MHz TOC FM STEREO ST ●

録音中に、MDの残り時間を確認することができます。(☞P.47)

電源コード使用時のみ
（乾電池では録音できません）

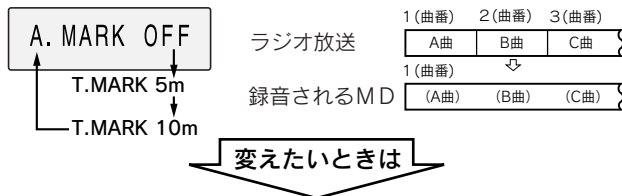
ラジオ放送を録音するときは、曲番のつけかたを変えることができます。（オートマーク）

録音を始める前に、リモコンの**[オートマーク]**を押して変える。

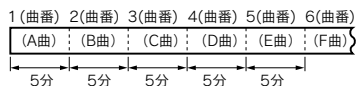
A.MARK OFF　初期値 OFF

はじめは、1 回の録音がひと続きの曲として録音される設定になっています。

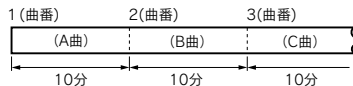
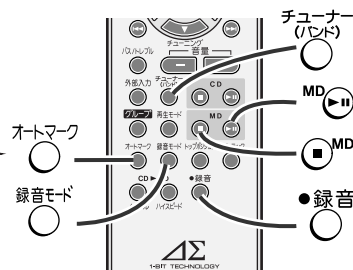
（録音を停止したり、一時停止すると、次に録音を再開したとき、曲番が1つ増えます。）

変えたいときは

T.MARK 5m

録音が始まって、5 分おきに、曲番がつきます。

1（曲番） 2(曲番) 3(曲番) 4(曲番) 5(曲番) 6(曲番)
（A曲） （B曲） （C曲） （D曲） （E曲） （F曲）
5分 5分 5分 5分 5分

T.MARK 10m

録音が始まって、10分おきに、曲番がつきます。

1（曲番） 2(曲番) 3(曲番)
（A曲） （B曲） （C曲）
10分 10分 10分

- オートマークによる5分おき、10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。
- オートマークの設定に関係なく、**[● 録音]**を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。
（曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）

録音を一時停止するには

もう一度上げると、録音が再開します。
曲番が1つ増えます。

録音を停止するには

MD

MD が停止したあと、MD に曲番を書き込みます。

お知らせ

AM放送を録音するときは、録音の待機状態のときに、AM アンテナを本体から離して、AM 放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。

録音済みMDの先頭に録音する（トップポジションエディット）

録音済みMDの先頭に、曲をあとから録音することができます。

録音済みのMD　トップポジションエディットに設定後、録音

1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	

録音後のMD

1 D曲	2 A曲	3 B曲	4 C曲	

録音終了後、先頭に移動されます。

CDから

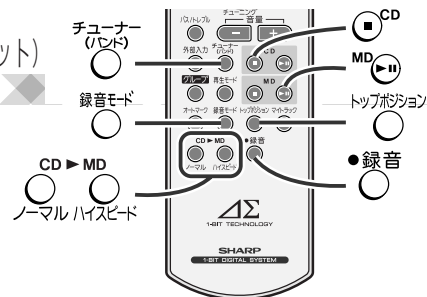
1 CD ■　入力を「CD」にする。

2 録音モード　録音モードを選ぶ。(☞P.40)

3 トップポジション　押す。

DISC 12 TOTAL 54:09 CD
点灯

もう一度押すと、設定が解除されます。

4 CD ► MD ノーマル ハイスピード　録音を開始する。（[ノーマル] または [ハイスピード] を押す。）

ラジオから

1 チューナー (バンド)　録音したい放送局を受信する。(☞P.28)

2 録音モード　録音モードやオートマークを選ぶ。(☞P.40、49)

3 トップポジション　押す。

78.0 MHz FM STEREO ST
点灯

4 ●録音　録音の待機状態にする。

5 MD ►II　録音を開始する。
録音が終わったら ■MD を押す。

お知らせ

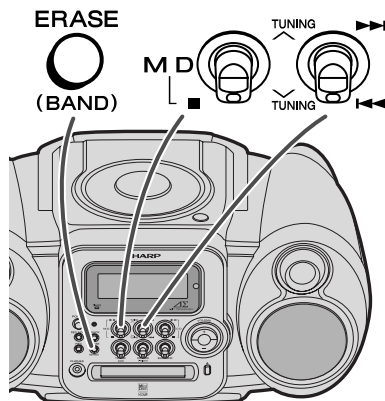
- 録音が終わると、トップポジションの設定は解除されます。
- 録音中や録音の待機状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。

MD に録音した曲を消す

電源コード使用時のみ
（乾電池では操作できません）

不要になった曲を消すことができます。曲を消すと、1枚のMDをくり返して使うことができます。

ご注意

曲を消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

曲を1曲ずつ消したいとき（トラックイレース）

● 1曲消えます。
● グループ内のすべての曲を消すと、そのグループも消えます。

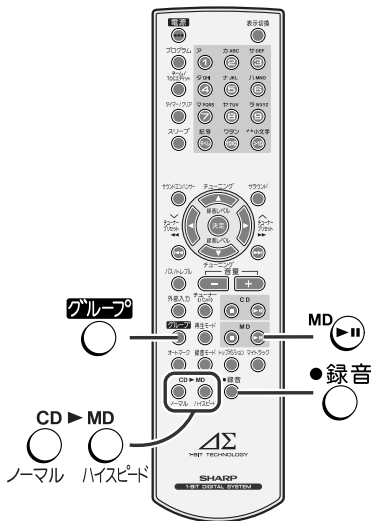
曲を消したあとは、あとでどれくらい録音できるようになったのか、録音残り時間を確かめておくと便利です。
（☞P.40）

MDのすべての曲を一度に消したいとき（オールイレース）

お知らせ

リモコンの[ネーム/TOC（トック）エディット]で、“Tr-ERASE（トラックイレース）” や “ALL（オール） ERASE（イレース）” を選んで消去することもできます。

グループに分けて録音する

1枚のMDをグループに分けて録音することができます。

CD から

はじめに: 1. 入力を「CD」にする。
2. CD と MD を入れる。
3. 録音モードを選ぶ。(☞ P.40)

ラジオから

はじめに: 1. 入力を「TUNER（チューナー）」にする。
2. MD を入れる。
3. 録音モードやオートマークを選ぶ。(☞ P.40、49)

1 グループ

"▸GROUP◂（グループ）" を点灯させる。

12 27:29
▸GROUP◂ 点灯

2 定速で録音 ノーマル / 4倍速で録音 ハイスピード

●録音

3 グループ

◂ または ▸ を押しても可能

くり返し押して、録音したいグループを選ぶ。

新しいグループにするとき: *NEW GROUP*

すでにあるグループに追加したいとき: GROUP 1 → GROUP 2 → GROUP 3 → … 最後のグループ

グループにしないとき: NON GROUP

グループ名が記録されていると、グループ名が表示されます。

4 定速で録音 ノーマル / 4倍速で録音 ハイスピード

MD ►II

録音を開始する。

グループ録音の設定は次に変更するまで変わりません。

グループ録音すると…

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音（最大99グループ）することができます。

グループにしなかった曲は「ノングループ」になります。（“NON GROUP” と表示）

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ	
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲

グループごとに曲番が1から始まります。

お知らせ

- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集したあとに、この製品でグループ録音の操作をすると、“? Gr Form.” のあと “NewForm.OK?” と表示されることがあります。
  その場合、ディスク名を消さないとグループ録音ができませんので “NewForm.OK?” と表示中に[決定] を押してください。（ディスク名が消去されます。）
  ディスク名を消したくないときは：
  [MD ■] を押して、録音を停止してください。
- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したMDをこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- グループを99個作ったときは、グループへの録音はできません。ノングループへの録音となります。

グループモードでいろいろな録音ができます。

はじめに: それぞれ、次のページをごらんになり、録音開始の前までの操作をします。

- CD▶MDエディット（☞ P.42、手順1～2）
- マイトラックエディット（☞ P.46、手順1～5）
- マニュアル録音（☞ P.44、手順1～2）
- シンクロ録音（☞ P.45、手順1～3）

1 [グループ] “▶GROUP◀” を点灯させる。

2 [定速で録音] ノーマル / [4倍速で録音] ハイスピード　|　●録音

3 [グループ] くり返し押して、録音したいグループを選ぶ。

4 [定速で録音] ノーマル / [4倍速で録音] ハイスピード　|　CD ▶II

トップポジションエディット（☞ P.50）をするときは
操作1のあとに [トップポジション] を押して、“▶1”を点灯させてください。

アナログ録音（☞ P.44）をするときは
操作3のあと [録音モード] を3秒以上押して、“ANALOG” を点灯させてください。

グループ録音したMDを聞く

設定されたアルバムやアーチストなど、好みのグループ別に再生することができます。

グループモードのままで再生すると…

グループごとに曲番1から再生が始まります。

■ グループモードを解除して聞くには

グループ分けに関係なく、1曲目から再生します。

■ 聞きたいグループを選んで聞くには

お知らせ

MDのプログラム再生を設定しているときは、グループモードに設定することができません。

■ 聞きたい曲から聞く（ダイレクト選曲）

❶ **グループ録音したMDを入れて、聞きたいグループを選ぶ。****（☞ P.54 操作1～3）**

❷ **①～⑩で聞きたい曲番を指定する。**
選んだグループの指定した曲から再生が始まります。

■ くり返して聞く・順不同で聞く
（リピート再生・ランダム再生）

❶ **グループ録音したMDを入れたあと、■MD を押す。**

❷ **再生モード を押して、再生モードを選ぶ。**

再生モード	表　示	動　　作
ノーマル再生	NORMAL	グループ順に全曲を再生したあと、停止します。
全曲リピート再生	⮌	グループ順に全曲再生をくり返します。
1曲リピート再生	1⮌	1曲をくり返し再生します。
ランダム再生	RANDOM	グループ内で順不同に再生し、グループ内を全曲再生した後は次のグループを順不同に再生します。MD内の全曲を再生後停止します。

❸ **MD ▶II を押して、再生を始める。**

最大10グループ

■ 好きなグループだけを登録して聞く
（グループプログラム再生）

❶ **■MD を押す。**

❷ **グループ録音したMDを入れる。**
“▶GROUP◀（グループ）” が点灯していないときは、グループ を押して点灯させてください。

❸ **プログラム を押す。**

❹ **グループ をくり返し押して、聞きたい曲のあるグループを選ぶ。**

❺ **プログラム を押す。**

❻ **❹～❺の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。**

❼ **登録が終わったら、■MD を押す。**

❽ **MD ▶II を押して、再生を始める。**

お知らせ

- MDを取り出すまで、グループプログラムの登録は覚えています。
- 再生中や一時停止中には、グループプログラムの登録をしたり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの設定は、MDの録音操作をすると解除されます。
- グループプログラムの登録をしたときは、グループモードを解除することはできません。
- グループプログラムの登録をしたあとに、リピート再生をすると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムの登録をしたときは、ランダム再生をすることはできません。

録音したMDにタイトルをつける

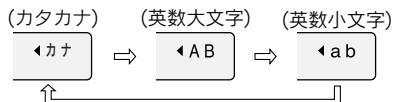
録音したMDには、お好みのディスク名やグループ名、曲名をつけることができます。

はじめに: 録音したMDを入れて、(■)MD を押す。

			ディスク名	グループ名	曲名
1	準備する。		MDを停止状態にします。	タイトルをつけたいグループを選びます。(☞P.54)	(⏮)または(⏭)を押して、タイトルをつけたい曲を選びます。
			DISC 12 TOTAL 58:23	GROUP 1	TRACK 4 4:12
2	ネーム/TOCエディット	押す。			
3	(◀)または(▶)	つけたいタイトルの項目を選ぶ。	DISC NAME “DISC NAME（ディスク ネーム）”を選ぶ。	GROUP NAME “GROUP NAME（グループ ネーム）”を選ぶ。	TRACK NAME “TRACK NAME（トラック ネーム）”を選ぶ。
	↓ 決定	決定する。			
4	表示切換	文字の種類を選ぶ。	◀カナ ディスク名文字入力画面	◀カナ グループ名文字入力画面	◀カナ 曲名文字入力画面
	↓ ア/カ ABC/サ DEF/タ GHI/ナ JKL/ハ MNO/マ PQRS/ヤ TUV/ラ WXYZ/記号/ワヲン/゛゜小文字	文字を入力する。(☞P.57)			
	↓ 決定	決定する。	● ディスク名が記録されます。	● グループ名が記録されます。	● 曲名が記録されます。

■ 文字入力のしかた

1 [表示切換]を押して、文字の種類を選ぶ。

（カタカナ）◀カナ ⇨ （英数大文字）◀AB ⇨ （英数小文字）◀ab

2 文字を入力する。

例）「ヒット」と入力するときは

1. **[表示切換]**を押し、カタカナ入力モードにする。
2. **[6][6]** .... （ヒ）
3. **[4][4][4][4][4][4]** .... （ッ）小文字
4. **[▶]**を押し、一文字移動する。
5. **[4][4][4][4][4]** .... （ト）

文字を追加入力するとき

1 文字入力の画面にする。
2 [◀]または[▶]を押して、追加したい位置の文字を点滅させる。
3 文字を入力する。
もとの文字が1文字ずつ右に移動します。
4 修正が終われば、[決定]を押す。

文字を削除するとき

1 文字入力の画面にする。
2 [◀]または[▶]を押して、削除したい文字を点滅させる。
3 [タイマー／クリア]を押す。
4 修正が終われば、[決定]を押す。

■ リモコンで入力できる文字の種類

表示切換	カタカナ ⇔	英数大文字 ⇔ 英数小文字	
		大文字 ⇔ ﾞﾟ小文字 >10 ⇔	小文字
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC 2	abc 2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF 3	def 3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI 4	ghi 4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL 5	jkl 5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO 6	mno 6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS 7	pqrs 7
ヤ TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV 8	tuv 8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ 9	wxyz 9
ワヲン 10/0	ワヲン	0 スペース	0 スペース
ﾞﾟ小文字 >10	ﾞ ﾟ スペース	アルファベットの大文字／小文字の切換（数字の大きさは変わりません。）	
記号 タイム	－ . , / : ? & ( ) ! " # $ % ＊ ;< = > @ _ ` + ' スペース		

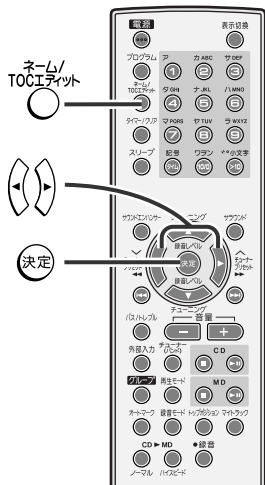
お知らせ

- カタカナは、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- タイトルの文字数はそれぞれ４０ 文字までです。いっぱいになると、“NAME FULL（ネーム フル）” と表示されます。
- 他の機器で40文字以上のタイトルをつけたMDは、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名やグループ名、曲名を一度消去してください。
- タイトルに “ / ” を連続してつけることはできません。
- LP2またはLP4で録音したMDのタイトルの先頭に **“LP : ”** を入力すると、表示されません。
- 1枚のMDでは約1,700文字までです。いっぱいになると、“TOC FULL 1（トック フル）” と表示されます。

ご注意

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、タイトルをつけることはできません。設定を解除してから操作してください。

CDやMDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする

タイトルをこの製品に登録して、他のMDにコピーすることができます。

1 タイトルをメモする（ネームメモ）

CDのタイトルをメモするとき

はじめに: 1. COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークつきのCDを入れる。
2. ディスク名または曲名を表示させる。

MDのタイトルをメモするとき

はじめに: 1. タイトルがついているMDを入れる。
2. ディスク名またはグループ名、曲名を表示させる。

1 ネーム/TOCエディット

押す。

（1分以内に次の操作へ）

2 ◀ または ▶

“NAME MEMO”（ネームメモ）を選ぶ。

NAME MEMO

決定

決定する。

3 ◀ または ▶

登録したいメモ番号M6～M20を選ぶ。

M 1:BEST

5件登録済み
ここに登録すると、新しいタイトルに変更されます。

15件未登録
はじめは、こちらにネームメモしましょう。

ネームメモ

M1 :BEST
M2 :SINGLES
M3 :ALBUM
M4 :MY FAVORITES
M5 :LIVE
M6 :(未登録)
～ ～
M20:(未登録)

4 決定

決定する。
CDやMDのタイトルがこの製品に登録されます。

M 6:BEST HI

タイトルを登録したら

他のMDにコピーする

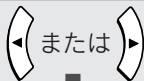
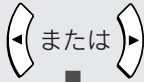
2 メモしたタイトルをつける（ネームコピー）

はじめに: 1. タイトルをつけたい MD を入れる。
2. 入力を「MD」にする。

1 タイトルをつけたいものを選ぶ。

ディスク名の表示例　12　54:09
グループ名の表示例　GROUP 1
曲番の表示例　1　3:15

2 ネーム/TOCエディット **押す。**

3 ◀ または ▶ **“NAME COPY”（ネーム コピー）を選ぶ。** NAME COPY
決定 **決定する。**

4 ◀ または ▶ **利用したいタイトルを選ぶ。(M1～M20 ☞ P.58)** M 6:BEST HI
決定 **決定する。** BEST HIT◀カナ
このとき表示されたタイトルを、変更することもできます。

5 決定 **決定する。**
タイトルがMDにつきます。

ディスク名を選ぶとき
■MD を押して、総曲数と総再生時間の表示にします。
（ディスク名をつけたいときは、グループモードを解除してください。）

曲番を選ぶとき
⏮ または ⏭ をくり返し押す。

グループ名を選ぶとき
グループ をくり返し押す。

お知らせ

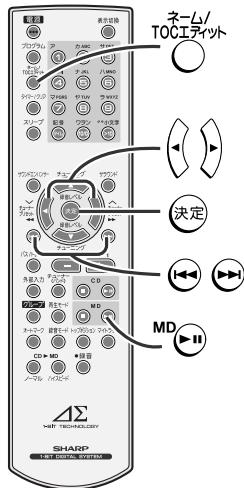
- グループモードを設定しているときは、ディスク名は表示されません。ディスク名を「**ネームメモ**」・「**ネームコピー**」するときは、グループモードを解除したあと操作してください。
（このとき編集メニューにすると、“GROUP DISC”（グループ ディスク）と表示されますが、そのまま続けて操作してください。）
- 1つの「**ネームメモ**」は25文字までです。
26文字以降は登録されません。
- 「**ネームコピー**」をすると、以前ついていたタイトルは消えます。
- 録音中に「**ネームメモ**」や「**ネームコピー**」をすることはできません。

録音したMDを編集する

コンバイン

2曲を1つにつなぐ

	1	2	3	4
つなぐ前	A曲	B曲	C曲	D曲

	1	2	3
つないだ後	A曲	B曲	C曲 D曲

1 またはMDの停止中に、つなぐうしろの曲を選ぶ。

2 ネーム/TOCエディット 押す。

3 または “COMBINE”（コンバイン）を選ぶ。

決定 決定する。

中止するには ネーム/TOCエディット

4 決定 決定する。

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

MD編集とは？

録音済みのMDを、あとから曲をつないだり、分けたり、移動したり、タイトルをつけたりなど、いろいろなことができます。

お知らせ

- うしろの曲を一時停止状態にしてもできます。
- 連続していない2つの曲は、**「ムーブ」**を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モードの異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方の曲に曲名がついているときは、前の曲名がつきます。
  ただし、他の機器で録音した曲は、曲名がつかないことがあります。
- 別のグループの2つの曲は、**「グループチェンジ」**（☞ **P.62**）を使って2つの曲を連続させてからつないでください。
- ノングループの曲がつながらないときは、**「グループアレンジ」**（☞ **P.63**）を使って曲を移動してからつないでください。

1曲を2つに分ける（デバイド）

	1	2	3	4
分ける前	A曲	B曲	C曲　D曲	
分けた後	A曲	B曲	C曲	D曲

1 MD
MDの再生中に曲を分けたいところで、一時停止にする。

2 ネーム/TOCエディット
押す。

3 または
"DIVIDE（デバイド）" を選ぶ。

DIVIDE

決定
決定する。

DIVIDE OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

4 決定
決定する。
曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

曲を移動する（ムーブ）

	1	2	3	4
移動する前	A曲	B曲	C曲	D曲
移動した後	C曲	A曲	B曲	D曲

1 または
MDの停止中に、移動する曲を選ぶ。

2 ネーム/TOCエディット
押す。

3 または
"MOVE（ムーブ）" を選ぶ。

MOVE

決定
決定する。

4 または
移動先の曲番を選ぶ。

3> 1 ?

中止するには ネーム/TOCエディット

決定
決定する。
曲が移動し、その曲の頭で停止します。

お知らせ

- 分ける曲に曲名・録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。
  ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名・録音日時がつきません。
- 移動したい曲の再生中に、[MD ▶II]を押して、一時停止状態にしても操作できます。
- グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。
  別のグループに移動するには「**グループチェンジ**」（☞ P.62）を使って曲を移動してください。

ご注意

プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。

グループ録音したMDを編集する

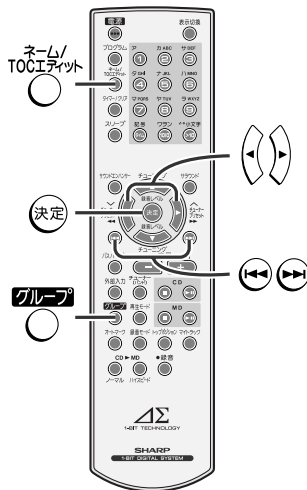
グループチェンジ

曲を別のグループに移動する

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2				
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L

移動した後

グループ1					ノングループ			グループ2			
1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1
A曲	B曲	C曲	D曲	I曲	E曲	F曲	G曲	H曲	J曲	K曲	L

1 グループ
MDの停止中に、
移動したい曲が入っている
グループを選ぶ。

GROUP 2

2 または
移動したい曲を選ぶ。

2 4:52

3 ネーム/TOCエディット
押す。

4 または
"Gr-CHANGE（グループチェンジ）"を選ぶ。

Gr-CHANGE

決定
決定する。

5 または
移動先のグループを選ぶ。

>GROUP 1

決定
決定する。

CHANGE OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

6 決定
決定する。
曲が移動し、その曲の頭で停止します。

お知らせ

すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

グループを先頭に移動する

グループトップムーブ

移動する前

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O

移動した後

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
H曲	I曲	J曲	K曲	A曲	B曲	C曲	D曲	L曲	M曲	N曲	O

1 グループ
MD の停止中に、移動するグループを選ぶ。

2 ネーム/TOCエディット
押す。

3 ◀ または ▶
"Gr-TOP-MOVE"（グループトップムーブ）を選ぶ。

Gr−TOP−MOVE

↓ 決定

決定する。

Gr−MOVE OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

4 決定
決定する。
グループが移動します。

ノングループの曲を MD の最後に移動する

グループアレンジ

移動する前

グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	4
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

移動した後

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

1 ネーム/TOCエディット
MD の停止中に押す。

2 ◀ または ▶
"Gr-ARRANGE"（グループアレンジ）を選ぶ。

Gr−ARRANGE

↓ 決定

決定する。

ARRANGE OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

3 決定
決定する。
ノングループの曲がMDの最後に移動します。

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとすると、"Can't EDIT"（キャント エディット）と表示されます。
- ノングループや曲が録音されていないグループは、グループトップムーブをすることはできません。

グループ編集に関するお知らせ

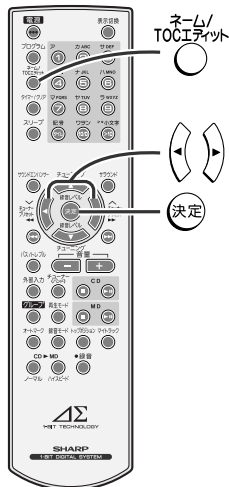
- グループ録音したＭＤを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したＭＤを、この製品で編集すると正しく動作しないことがあります。

グループ録音したMDを編集する（続き）

グループになっていない曲をグループにする

グループエントリー

1 ネーム/TOCエディット　MDの停止中に押す。

2 ◀または▶　“Gr-ENTRY”（グループエントリー）を選ぶ。

Gr-ENTRY

決定　決定する。

ENTRY OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

3 決定　決定する。

START TNO.

4 ◀または▶　グループにしたい最初の曲を選ぶ。

1　4:48

ノングループの曲番が1から順に表示されます。

決定　決定する。

END TNO.

5 ◀または▶　グループにしたい最後の曲を選ぶ。

4　3:32

決定　決定する。

1-　4 OK?

中止するには ネーム/TOCエディット

6 決定　決定する。
選んだ曲がグループになります。

ご注意

グループアレンジ（☞ P.63）やグループエントリーをすると、ノングループの曲をすべて後に移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなることがあります。移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。

グループを作成する

グループリザーブ

グループ1				グループ2
1	2	3	4	
A曲	B曲	C曲	D曲	

曲はあとから録音

1 ネーム/TOCエディット
MD の停止中に押す。

2 ◀ または ▶
"Gr-RESERVE"（グループリザーブ）を選ぶ。
Gr-RESERVE
↓ 決定
決定する。
NWE GROUP
中止するには ネーム/TOCエディット

3 文字を入力する。
（☞ P.57）
カナ
グループ名がないと、グループを作成することができません。

4 決定
決定する。
グループが作成されます。

グループ情報を消去する

グループキャンセル

キャンセルする前

グループ1				グループ2			
1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲

キャンセルした後

1	2	3	4	5	6	7	8
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲

1 ネーム/TOCエディット
MDの停止中に、3 秒以上押す。
Gr-CANCEL

2 決定
決定する。
EDIT OK?
中止するには ネーム/TOCエディット

3 決定
決定する。
グループ情報が消えます。

ご注意

- グループキャンセルをすると、すべてのグループ情報が消去されます。
- グループリザーブをしたときは、曲を録音するまで、そのグループの名前を消去することができません。
- グループを消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

グループを消す

グループイレース

消す前

グループ1				グループ2				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲

消した後

グループ2				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4
H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲

1 グループ
MD の停止中に、消したいグループを選ぶ。
GROUP 1

2 ネーム/TOCエディット
押す。

3 ◀ または ▶
"Gr&Tr-ERASE"（グループ&トラックイレース）を選ぶ。
Gr&Tr-ERASE
↓ 決定
決定する。
GrERASE OK?
中止するには ネーム/TOCエディット

4 決定
決定する。
COMPLETE
選んだグループが消去されます。

入力したタイトルを消す

不要になったディスク名やグループ名、曲名を消すことができます。

はじめに: 録音した MD を入れて、■MD を押す。

手順	ボタン	操作	ディスク名	グループ名	曲名
1		準備する。	MD を停止状態にします。 12 58:23	タイトルを消したいグループを選びます。(☞P.54) GROUP 1	⏮または⏭を押して、タイトルを消したい曲を選びます。 4 4:12
2	ネーム/TOCエディット	押す。			
3	◀ または ▶	消したいタイトルの項目を選ぶ。	DISC NAME “DISC NAME”(ディスク ネーム)を選ぶ。	GROUP NAME “GROUP NAME”(グループ ネーム)を選ぶ。	TRACK NAME “TRACK NAME”(トラック ネーム)を選ぶ。
4	タイマー/クリア	3秒以上押す。	NAME CLEAR?	NAME CLEAR?	NAME CLEAR?
5	決定	決定する。	COMPLETE		

タイマーを使う前に

乾電池ではタイマー再生やタイマー録音はできません

タイマーでどんなことができるの？

設定した時刻にCDやMD、ラジオ放送を聞くことができるタイマー再生（☞ P.68～69)や、ラジオ放送をMDに録音できるタイマー録音（☞ P.70～71)が可能です。
「ワンスタイマー」と「デイリータイマー」の２種類が使えます。

ワンスタイマーを使うと…

1 回だけタイマー動作をします。
（終了後、タイマーは解除されます。）

デイリータイマーを使うと…

1 回の設定で、毎日同じ時刻にタイマー動作をします。
（設定を解除するまで、毎日くり返します。）

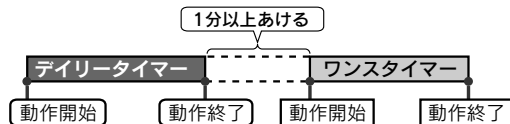
毎朝の目覚ましに便利

タイマーの準備

1. 電源コードをつないでおきます。
2. 時計を合わせておきます。（☞ P.22）
3. 再生または録音に必要なディスクを入れておきます。
4. ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録しておきます。（☞ P.30）

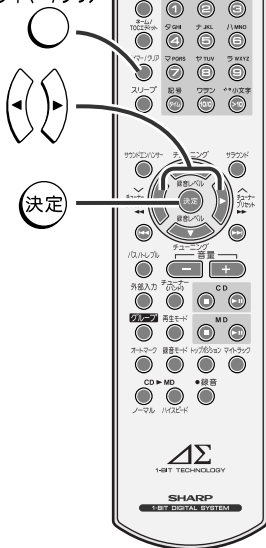
バックアップ用乾電池について

バックアップ用乾電池を入れておけば、電源コードを抜いたり停電があっても、タイマー設定は解除されません。

ワンスタイマーとデイリータイマーを組み合わせて使用することもできます

デイリータイマーとワンスタイマーは時間が重なると、ワンスタイマーが優先されますので、1分以上間をあけてください。

タイマー再生を設定する

はじめに

準備は、「タイマーを使う前に」をごらんください。
（☞ P.67）

1 タイマー/クリア

電源が入った状態で、
押す。

2 または → 決定

1分以内に…
“ONCE TIMER”（ワンス タイマー）
または
“DAILY TIMER”（デイリー タイマー）
を選び、決定する。

ワンスタイマー: ONCE TIMER

デイリータイマー: DAILY TIMER / CLOCK 9:30 AM

3 または → 決定

“ONCE SET”（ワンス セット）または
“DAILY SET”（デイリー セット）
を選び、決定する。

ONCE SET ↕ ONCE ON

DAILY SET ↕ DAILY ON

4 または → 決定

“TIMER PLAY”（タイマー プレイ）
を選び、決定する。

TIMER PLAY ↕ TIMER REC

5 または → 決定

開始時刻の「時」を
合わせ、決定する。

ON 7:00 AM
「時」

6 または → 決定

開始時刻の「分」を
合わせ、決定する。

ON 7:30 AM
「分」

7 操作5 → 操作6

同じ手順で、終了時刻
を設定する。

OFF 8:30 AM

つづく

8

聞きたい入力を選び、決定する。

「TUNER(チューナー)」を選んだときは…
または 決定

希望の放送局を選び、決定する。

9 または 決定

音量を設定し、決定する。

ONCE:ワンスタイマー再生
DAILY:デイリータイマー再生

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定が終わりました。

リモコンの **を押して、電源を切る。**

本体の電源は入れたままにしておきます。

タイマー開始時刻になると…

タイマー再生が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

設定内容を変更したいときは

68ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

設定内容を確認または解除したいときは

72ページをごらんください。

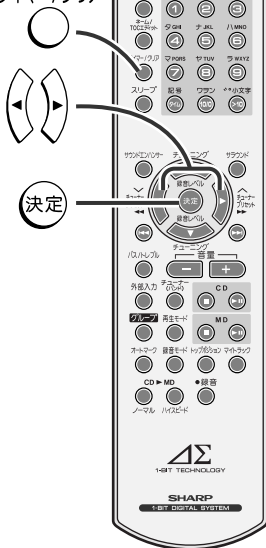
お知らせ

- 録音中にワンスタイマーを設定することはできません。
- 操作8で、AUXを選んだときは、他の機器とこの製品を接続(☞ P.74)して、それぞれタイマー設定してください。
- 放送局が登録されていないときは、"No P.SET(ノー プリセット)"と表示され、設定操作が終了します。
  このときは、放送局を登録したあと、はじめからやり直してください。

他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。

タイマー録音を設定する

はじめに

準備は、「タイマーを使う前に」をごらんください。
(☞ P.67)

1 タイマー/クリア

電源が入った状態で、
押す。

2 ◀ または ▶ ➡ 決定

1 分以内に…
"ONCE TIMER"（ワンス タイマー）
または
"DAILY TIMER"（デイリー タイマー）
を選び、決定する。

ワンスタイマー: ONCE TIMER

デイリータイマー: DAILY TIMER / CLOCK 9:30 AM

3 ◀ または ▶ ➡ 決定

"ONCE SET"（ワンス セット）**または**
"DAILY SET"（デイリー セット）
を選び、決定する。

ONCE SET ↕ ONCE ON

DAILY SET ↕ DAILY ON

4 ◀ または ▶ ➡ 決定

"TIMER REC"（タイマー レコード）
を選び、決定する。

TIMER REC ↕ TIMER PLAY

5 ◀ または ▶ ➡ 決定

開始時刻の「時」を合わせ、決定する。

ON 7:00 AM
「時」

6 ◀ または ▶ ➡ 決定

開始時刻の「分」を合わせ、決定する。

ON 7:30 AM
「分」

7 操作 5 ➡ 操作 6

同じ手順で、終了時刻を設定する。

OFF 8:30 AM

つづく

電源コード使用時のみ
（乾電池では動作しません）

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定が終わりました。

⇩

リモコンの 電源 を押して、電源を切る。

本体の電源は入れたままにしておきます。

⇩

タイマー開始時刻になると…

タイマー録音が始まります。

設定内容を変更したいときは

70 ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

設定内容を確認または解除したいときは

72 ページをごらんください。

お知らせ

- 録音中にワンスタイマーを設定することはできません。
- 操作8で、AUXを選んだときは、他の機器とこの製品を接続（☞ P.74）して、それぞれタイマー設定してください。
- 放送局が登録されていないときは、“No P.SET（ノー プリセット）”と表示され、設定操作が終了します。
  このときは、放送局を登録したあと、はじめからやり直してください。
- グループ録音された MD にタイマー録音すると、“NON GROUP（ノン グループ）”に録音されます。

ご注意

他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。

タイマーの確認や解除、再設定のしかた

設定したタイマーの内容を確認したり、解除したり、もう一度同じ内容で設定したりできます。

1 タイマー/クリア

電源が入った状態で、
押す。

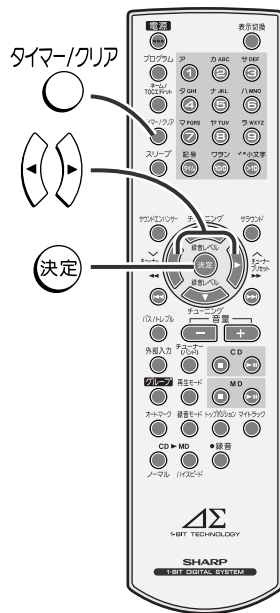
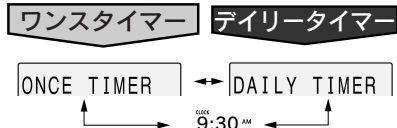
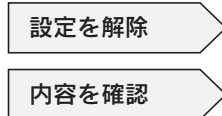
2 ◀または▶ → 決定

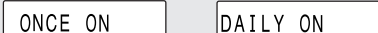
**“ONCE TIMER”（ワンス タイマー）
または
“DAILY TIMER”（デイリー タイマー）
を選び、決定する。**

ワンスタイマー / デイリータイマー

ONCE TIMER ↔ DAILY TIMER → CLOCK 9:30 AM

3 ◀または▶

項目を選ぶ。

	ワンスタイマー	デイリータイマー
	ONCE SET	DAILY SET
設定を解除	ONCE OFF	DAILY OFF
内容を確認	ONCE CALL	DAILY CALL

タイマーが解除されたあとは、このような表示も出ます。

同じ内容で再設定するとき	ONCE ON	DAILY ON

● 内容を変更したいときは、68 ページまたは 70 ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

4 決定

決定する。

● 設定を解除すると、タイマーは解除されます。
（設定した内容は消えません。）
● 内容を確認したときは、設定内容が順に表示されます。

おやすみタイマーを使う

（スリープ）

MD・CD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。（電源の待機状態になります。）

スリープ終了時刻になると

再生が終わり、電源が切れます。

終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。

スリープ中にタイマー設定することができます

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマーが始まります。（電源コード使用時のみ）

スリープ中に残り時間を確認するには

スリープ動作中に、[スリープ]を押す。

SLEEP 0:24 ― 残り時間

- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに **[スリープ]** を押すと、時間を変更することができます。

スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。

電源を切らないで、解除したいときは、次のようにします。

1. **スリープ動作中に、[スリープ]を押す。**
2. **[スリープ]をくり返し押して、"SLEEP OFF"（スリープ オフ）を選ぶ。**
   スリープが解除（"SLEEP"（スリープ）消灯）されます。

他の機器の再生音を聞いたり、録音する

接続をする前に

- 各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続コードは、抵抗の入っていないものを使ってください。
  抵抗の入っているコードを使うと、音が小さくなります。

サウンドシンクロ録音を使うと便利
MD／CDプレーヤーの再生音と同時に、この製品の録音をスタートさせることができます。

■ MD ／ CD プレーヤーなどから録音するとき

はじめに: 録音用 MD を入れる。 サウンドシンクロ録音

❶ 外部入力 を押して、入力を「AUX」にする。
（本体の TUNER/AUX でも可能）

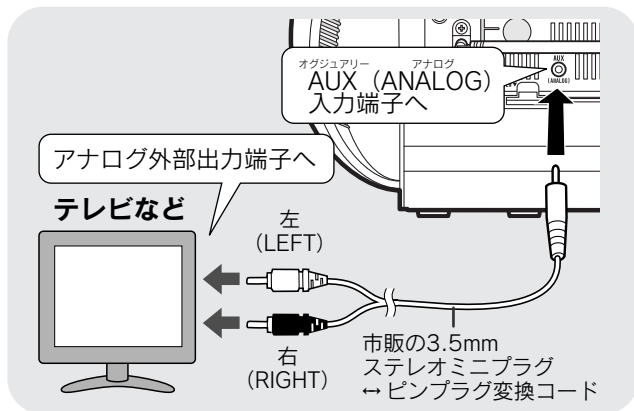
❷ 録音レベルを調整する。（☞P.75）

❸ 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞P.40）

❹ ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

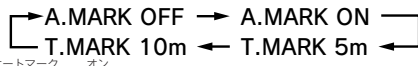
❺ ●録音 をもう一度押して、サウンドシンクロ録音モードにする。
S-SYNC 点滅

❻ 他の機器を再生すると、録音が開始します。
- オートマークの設定に関係なく再生音に1秒以上の無音があると曲番がつきます。
- 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止します。
- MDやCDのディスク名や曲名は、録音と同時には記録されません。録音したあとで、ネームメモ／ネームコピー（☞P.58,59）を使うと、ディスク名や曲名をコピーすることができます。

■ テレビなどの音声を録音するとき

はじめに: 録音用MDを入れる。 **マニュアル録音**

❶ **録音の準備をする。（☞P.74　手順❶～❸）**

❷ オートマーク ○ **を押して、オートマークを選ぶ。**

A.MARK OFF → A.MARK ON → T.MARK 5m → T.MARK 10m → A.MARK OFF

- 「A.MARK ON（オートマーク オン）」にしたときは、再生音に1秒以上の無音があると、曲番がつきます。
- くわしくは、49ページをごらんください。

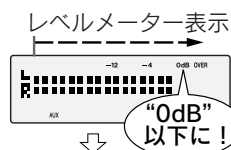
❸ ●録音 ○ **を押して、録音の待機状態にする。**

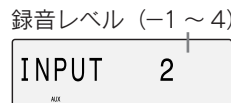
❹ MD ⏯ **を押して、録音を開始する。**

❺ **他の機器を再生する。**

録音レベルの調整

録音をする前に次の方法で調整することができます。

1. **接続した機器を再生する。**
レベルメーターが表示されます。

2. **▲ または ▼ を押して、録音レベルを調整する。**
- 最も大きなレベルでレベルメーターの最大値が"0dB"をこえないように調整してください。
録音レベルは低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。
- 録音レベルを調整したあと、接続した機器を停止します。

INPUT　2

約３秒後にレベルメーター表示に戻ります。

録音する。

録音レベルは、録音中にも調整することができます。

お知らせ

「A.MARK ON（オートマーク オン）」で録音中に雑音が多いときは、曲番が正しくつかないことがあります。このときは、「A.MARK OFF（オートマーク オフ）」で録音してください。

他の機器の再生音を聞いたり、録音する（続き）

グループ録音するときは

1. 録音の待機状態にする前に、グループ をくり返し押して、
   “ ▶GROUP◀ ” を点灯させる。
2. 録音の待機状態にしたあと、◀ または ▶ を押して、
   録音するグループを選ぶ。
3. 録音を開始する。

録音を一時停止するには

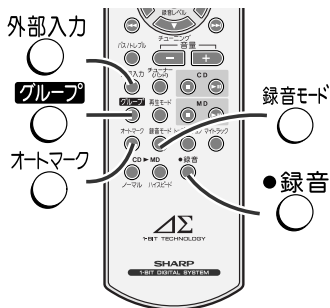
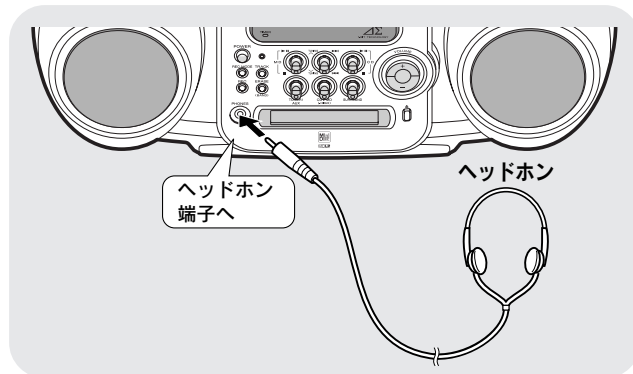
[MD ▶ II]を押す。

再び録音を始めるには、もう一度押します。
このとき、曲番が 1 つ増えます。

- サウンドシンクロ録音中は、[MD ▶ II]を押しても一時停止にすることはできません。

録音を停止するには

[MD ■]を押す。

- サウンドシンクロ録音のときは、停止後サウンドシンクロ録音モードが解除されます。

■ ヘッドホンで聞く

- プラグを抜き差しするときは、音量を下げてから行ってください。
- インピーダンス 16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5mm ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

ＣＤについて

■ 再生できるディスクは？

ディスクマーク	内容
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	音声＋文字情報
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW	音声＋文字情報

ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

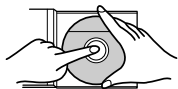
ご注意

- CD-R･CD-RWは、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。そのときは、CD-R・CD-RW を録音する機器の録音スピードや、使用するディスクを換えてみると再生できることがあります。
  くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- 本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

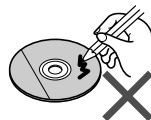
■ ディスクを持つときは？

再生面に触れないでください。
必ずふちを持ってください。
再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

■ ケースからの出し入れは？

センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。

文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。

■ 取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは、使用しないでください。
故障の原因となります。

■ お手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。

矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

■ 種類について

再生専用MD

シャッターが片面（裏面）にあります。

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
録音や編集はできません。

録音・再生用MD

シャッターが両面にあります。

録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

■ 取り扱いについて

カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

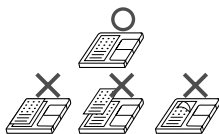
ディスクに直接触れないでください。

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。

シャッターは無理に開けると壊れます。

■ ラベルを貼り付けるときのお願い

正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

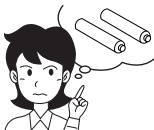
- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。
  （海辺や砂地等）

■ ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding ）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約1/10または1/20に圧縮するATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、2倍・4倍のステレオ長時間録音を可能としています。

■ 音とびガードメモリーについて

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって音が途切れることなく再生することができます。

MDのシステム上の制約

こんなとき	意　味
MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”（ディスク フル）が表示されることがあります。	・ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 ・最大録音曲数（255曲）まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数（２５５曲）に満たなくても“TOC FULL”（トック フル）が表示されることがあります。	・MDシステムでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（255曲）にならなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。このようなMDは、全曲消去し、一度“BLANK MD”（ブランク）にすると、最初から使用できます。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	・MDの録音残り時間を表示するとき、短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）は、曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	・通常は、１クラスタ（約２秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 （各秒数は、ステレオ録音（SP）時の値です。録音モードにより異なります。）
編集で曲と曲とをつなげられないことがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 ・デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐことはできません。 ・録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。
タイトルの先頭に“LP:”を入力すると表示されません。	・2倍、4倍長時間録音（LP2・LP4）した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されません。“LP”のあとに“:”以外の記号や文字を入力してください。

Q & A 集 よくあるご質問

	質　問	回　答
一般	電源コードを抜くと、時計は止まるの？	バックアップ用乾電池を入れておけば大丈夫です。 ☞ P.17
	リモコン用乾電池の寿命はどのくらいですか？	通常のご使用で約１年です。 （動作が不安定になったときは、早めに交換してください。） ☞ P.16
	バックアップ用乾電池は何のために入れるの？	停電したときや、電源コードを抜いたとき、本体用乾電池が消耗したときに、バックアップ用乾電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。 ☞ P.17
	バックアップ用乾電池の寿命はどのくらいですか？	通常のご使用で約３ヵ月です。 ☞ P.17
	「デモ表示」って何ですか？ <<DEMO>>	電源を切ったときに、表示部が自動的に点灯し、いろいろな表示内容に変わることをデモ表示と呼びます。 ☞ P.21

	質　問	回　答
聞く	どんなCDが再生できるの？	一般のCD以外にも、音楽用CD-R・CD-RWに録音された曲を聞くことができます。 また、CD TEXTマークがついたCDでは、ディスク名や曲名が表示されます。 ☞ P.77
	80分MDは使えるの？	80分MDは、録音も再生もできます。
	Hi-MDは使えるの？	Hi-MDは使えません。 ☞ P.84
	テレビ音声は聞けるの？	１～３チャンネルのみです。地上波デジタル放送は聞けません。
	CD・MDの曲名やディスク名は表示されますか？ BEST HIT	カタカナと英数文字で入力されている曲名やディスク名は表示されます。 （パソコンなどで文字を入力したディスクでは、正しく表示されないことがあります。）

	質　問	回　答
録音	**「LP2」や「LP4」って何ですか？**	標準の2倍または4倍で録音をすることができる録音のモードです。 ☞ P.40
録音	**LP2・LP4で録音したら音質は悪くなりますか？**	LP4はごくまれに雑音が録音されることがあります。 音質を重視する場合は、SPまたはLP2をおすすめします。 ☞ P.37
録音	**「オートマーク」って何ですか？**	ラジオ放送や外部機器から録音中に曲番を記録することです。録音を始める前に設定を選ぶことによって、曲番のつけ方を変えることができます。 ☞ P.49
録音	**MDに録音時間を記録することができますか？**	日付と時刻を合わせておくと、録音日時がMDに記録されます。 ☞ P.36
録音	**「TOC」って何ですか？**	録音情報を記録した、MD内の目次です。 ☞ P.39
録音	**CD-RやCD-RWから録音するとき“Can't COPY”（キャント コピー）と表示されるのですが？**	録音モードを“ANALOG”に切り換えて録音してください。 ☞ P.44

	質　問	回　答
録音	**録音中に音量や音質を変えたらどうなりますか？**	スピーカーから聞こえる音量や音質は、録音される音には影響しません。 ☞ P.37
録音	**「グループ録音」って何ですか？**	MDの中をグループ分けできる機能です。 ☞ P.53

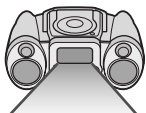
	質　問	回　答
タイマー	**「ワンスタイマー」って何ですか？**	１回のみのタイマーです。 タイマー録音に便利です。 ☞ P.68,70
タイマー	**「デイリータイマー」って何ですか？**	毎日働くタイマーです。 毎朝の目覚ましに便利です。 ☞ P.68,70
タイマー	**タイマー設定しているときに停電しても大丈夫？**	バックアップ用乾電池を入れておけばタイマー設定は覚えています。時間がくる前に、停電が復帰すればタイマーは働きます。 ☞ P.17

こんな表示が出たときは

表　示	意　味
BLANK MD	何も記録されていない。
Can't COPY	コピー禁止のCDから録音しようとした。 →アナログ録音してみてください。（☞ P.44） ネームコピーができない。
Can't EDIT	MDの編集ができない。→別の曲を編集してみてください。 乾電池で使用しているときに、MD編集操作や録音操作をしようとした。→電源コードで使用してください。
Can't READ※ （※は数字や記号です。）	ディスク情報が読めない。 規格外のCDやMDを入れた。 「Hi-MD」ディスクを入れた。（☞ P.84） →CDやMDを入れ直すか、取り換えてください。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
Can't REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 →録音をやり直すか、MDを交換してください。 乾電池で使用しているときに、録音操作をしようとした。 →電源コードで使用してください。
Can't T REC	タイマー録音ができない。または、MDに録音できる空きがない。
Can't WRITE	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。
CD NO DISC	CDが入っていない。
DISC FULL	MDに録音できる空きがない。
EDIT OVER	MDの録音時間が足りない。
Er-MD ※※ （※※は数字や記号です。）	MDが正しく働いていない。 →電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
GROUP DISC	グループ録音したMDをグループモードに設定しないで編集をしようとした。

表　示	意　味
GROUP FULL	グループ数が99をこえている。
MD NO DISC	MDが入っていない。
NAME FULL	ディスク名・グループ名・曲名が40文字をこえている。
NO NAME	タイトルがないのにネームメモしようとした。
NO TRACK	再生、編集する曲がない。 →曲のあるグループ、ノングループを選んでください。
NOT AUDIO	オーディオ用でないデータが記録されている。 →CDやMDを取り換えてください。
PLAYBACK MD	再生専用MDに録音や編集をしようとした。
PROTECTED	MDが誤消去防止になっている。
TEMP OVER	温度が高くなりすぎた。 →電源を切ってしばらく置いてください。
TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	記録されているTOC情報に異常があり、読めない。録音や編集操作ができない。 →オールイレースをし、録音をやり直してください。
TOC FULL	曲番を登録する空きがない。
TOC FULL 1	TOCに文字情報を登録する空きがない。 または、グループ録音ができない。 →不要なディスク名・グループ名・曲名を消すか、他のMDと取り換えてください。
WAIT ※※ m GUARD （※※は数字です。）	ハイスピードでの録音ができない。 →表示された時間だけ録音を待つか、ノーマルスピードで録音してください。
? DISC	音楽以外（データなど）が入ったMDを使用した。 （データなどが入ったMDは再生できません。）
? Gr. Form ↓ NewForm.OK?	グループ録音やグループ編集ができない。 →ディスク名を消してやり直してください。 （☞ P.66）

「故障かな？」と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、88ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ修理を依頼してください。

共通

スピーカーから音が出ない。
→音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.31
→ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.76

再生中に雑音が出る。
→テレビ･パソコン･携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。
→一度、電源を切り、操作をやり直してください。
それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 ☞ P.85

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。
→室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると､テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
また、時刻が表示されない。
→時刻を設定しましたか。また､時計が消えていませんか。
時計を合わせ直してください。 ☞ P.22
→バックアップ用の乾電池が入っていますか。または､乾電池が消耗していませんか。 ☞ P.17

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
→本体の電源を切っていませんか。
タイマーを設定しても本体の電源（POWER（パワー））スイッチを切ると、タイマーが動作しません。 ☞ P.69,71

表示部が暗い。
→リモコンの表示切換ボタンを押し“**DIMMER（ディマー） OFF（オフ）**”を選んでください。 ☞ P.21

共通

電源を切っているのに、表示部が点灯している。
→デモ表示になっていませんか。
デモ表示を解除してください。 ☞ P.21

電源が入らない。
→電源コードはつながっていますか。 ☞ P.18
→本体用乾電池の ⊕⊖ の向きが反対になっていませんか。 ☞ P.19
→乾電池で使用するときは、本体のAC電源ソケットから電源コードを抜いていますか。 ☞ P.19
家庭用コンセントから電源コードを抜いても、本体のソケットにコードがつながっていると、乾電池で動作させることができません。

リモコン

リモコンで操作できない。または、正しい動作をしない。
→乾電池の ⊕⊖ の向きが逆になっていませんか。
→乾電池が消耗していませんか。
→リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。
→リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。
または、近すぎませんか。
→リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。
→他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。
☞ P.16

リモコンで電源が入らない。
→本体の電源（POWER（パワー））スイッチは入れていますか。
☞ P.20

「故障かな？」と思ったら（続き）

MD

MDを入れても“MD NO DISC”や“Can't READ”が表示される。再生音がとぎれる。

→ディスクにキズがついていませんか。
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
→つゆつき現象が起きていませんか。　☞ P.85
→Hi-MDを使用していませんか。
　この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクを再生することはできません。

録音ができない。

→MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか。　☞ P.39
→再生専用MDに録音しようとしていませんか。　☞ P.78
→“DISC FULL”や“TOC FULL”になっていませんか。
　☞ P.82
→Hi-MDを使用していませんか。
　この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクに録音することはできません。

グループ録音したMDでグループが使えなくなった。また、グループ名の表示が正しく表示されない。

→他の機器でTOCデータが書きかえられた可能性があります。

CD

CDを入れても“CD NO DISC”や“Can't READ”が表示される。または、再生音がとぎれる。

→CDの裏表をまちがえていませんか。
→汚れやキズがありませんか。
→規格外のCDを使用していませんか。
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
→つゆつき現象が起きていませんか。　☞ P.85

操作ボタンを押しても動作をしない。また、曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。

→CDに汚れやキズがありませんか。
→規格外のCDを使用していませんか。
→振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
→つゆつき現象が起きていませんか。　☞ P.85

ラジオ

放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。

→テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。
　このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
→アンテナの方向が悪くありませんか。　☞ P.29

放送がよく受信できない。雑音が多い。

→アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。

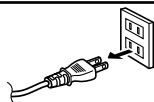
登録した放送局を呼び出すことができない。

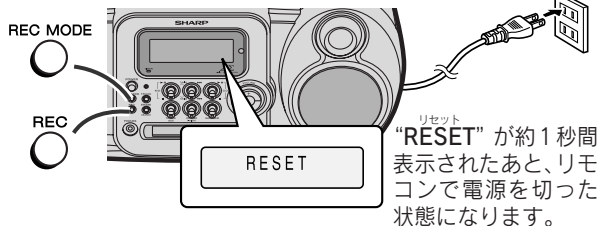
→リセット操作をしませんでしたか。
　登録し直してください。　☞ P.30

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

1 電源コードをコンセントから抜く。

2 POWER を押す。（スイッチを押し込んだ状態 POWER ）

3 REC と REC MODE を押したまま、電源コードを差し込む。

“RESET”(リセット) が約1秒間表示されたあと、リモコンで電源を切った状態になります。

4 リモコンの 電源 を押し電源を入れる。

ご注意

リセット操作をすると、登録した内容はすべて消えます。

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと…… ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには… ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

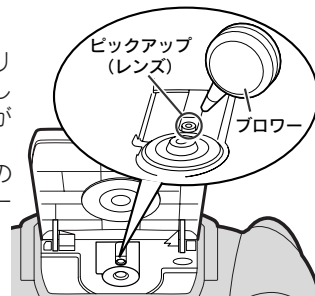
お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎（03）5353-0336

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本部	☎（03）3481－2121	横浜支部	☎（045）662－6551
北海道支部	☎（011）221－5088	静岡支部	☎（054）254－2621
盛岡支部	☎（019）652－3201	中部支部	☎（052）583－7590
仙台支部	☎（022）264－2266	北陸支部	☎（076）221－3602
長野支部	☎（026）225－7111	京都支部	☎（075）251－0134
大宮支部	☎（048）643－5461	大阪支部	☎（06）6244－0351
上野支部	☎（03）3832－1033	神戸支部	☎（078）322－0561
東京支部	☎（03）3562－4455	中国支部	☎（082）249－6362
西東京支部	☎（03）5321－9530	四国支部	☎（087）821－9191
東京イベント・コンサート支部	☎（03）5321－9881	九州支部	☎（092）441－2285
立川支部	☎（042）529－1500	鹿児島支部	☎（099）224－6211
		那覇支部	☎（098）863－1228

お手入れについて

CD ピックアップ

ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

ご注意

- **ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。**
- 使わないときは、CD ブタを閉じておいてください。
- レンズにキズをつけないように気をつけてください。

本 体 表 面

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- **ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。**
- 油をささないでください。故障の原因となります。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ミニディスク部

項目	仕様
形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 （半導体レーザー使用）
回転数	約 400 ～ 900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮 / 伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)/ATRAC3(MDLP)
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル / モノラル 1 チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20 ～ 20,000 Hz(+1/-3dB) (JEITA) ※
ワウ・フラッター	測定限界(± 0.001%W.PEAK)以下(JEITA)※

コンパクトディスクプレーヤー部

項目	仕様
形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル
周波数特性	20 ～ 20,000 Hz(+1/-3dB)(JEITA) ※
ワウ・フラッター	測定限界(± 0.001%W.PEAK)以下(JEITA)※

チューナー部

項目	仕様
受信周波数	FM : 76.0 ～ 108.0 MHz（TV 音声 1 ～ 3CH） AM : 522 ～ 1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダイン FM/AM チューナー
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：専用ループアンテナ（付属）

リモコン部

項目	仕様
電源	DC 3 V（付属単 4 乾電池× 2 個）

タイマー・時計部

項目	仕様
形式	日付機能つきデジタルクロック
タイマー	デイリータイマー / ワンスタイマー / スリープタイマー

共通部

項目	仕様
アンプ方式	2.8MHzサンプリング　1ビットデジタルアンプ方式
A/D ノイズシェーピング	7 次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調
実用最大出力（JEITA ※）	4 W ＋ 4 W
スピーカー	8 cm フルレンジスピーカー（4 Ω）× 2
出力端子	ヘッドホン出力：16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω） 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
入力端子	アナログ外部入力：300 mV 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
アンテナ端子	AM 専用ソケット
その他の端子	AC ソケット（100 V AC）× 1
電源	100 V AC、50/60 Hz DC15V（市販単 2 形アルカリ乾電池× 10 本）
消費電力	AC 25 W
最大外形寸法（JEITA ※）	401（幅）× 180（高さ）× 261（奥行）mm
質量	約4.8kg（乾電池含まず）　約5.5kg（乾電池含む）
電池持続時間（JEITA ※）	CD 再生時　約 5 時間 MD 再生時（ステレオ再生）　約 6 時間 （2 倍長時間再生）　約 6 時間 （4 倍長時間再生）　約 6 時間 （モノラル再生）　約 6 時間 ラジオ受信時（FM ステレオ）　約 7 時間 （AM）　約 7 時間 （市販単 2 形アルカリ乾電池 < LR14 > 使用時）

※ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から1年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットMD/CDシステムの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（89ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「“故障かな？”と思ったら」（83～85ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　－

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・**修理相談センター**へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・**お客様相談センター**へ

お客様相談センター

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（ＦＡＸ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札　幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東 北 地区	仙　台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関 東 地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多　摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千　葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東 海 地区	静　岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北 陸 地区	金　沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近 畿 地区	京　都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪　神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中 国 地区	広　島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四 国 地区	高　松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九 州 地区	福　岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那　覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

シャープ商品の修理・お取り扱い・お手入れのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へお申し出ください。
※なお、転居されたり贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス《修理品引き取りサービス》のご案内

修理品引き取りサービスとはお持込いただける商品を、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	有料

■修理料金

保証期間内	無料 (保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料 (修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料となる場合があります。
詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

0570-02-4649

・受付時間　月曜～土曜：午前9時～午後6時
　　　　　　日曜／祝日：午前10時～午後5時
年末年始・当社指定の休日及び天災などやむをえない状況の際は臨時に休ませていただくことがありますので予めご了承ください。
・ナビダイヤルは、全国一律料金でご利用いただけます。
・携帯電話・ＰＨＳからはナビダイヤルを一部ご利用いただけません。下記の一般電話におかけください。
・ファクシミリを送信される方は、下記 FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
専用ＦＡＸ	043-299-3865	06-6792-3221

電話番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引取りに伺います。

・お引取り時間は下記時間帯よりお選び頂くことができます。
　ＡＭ/12時～14時/14時～16時/16時～18時/18時～21時
・お引取り日はご依頼日の翌日以降となります。
・交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させて頂きます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

・ご連絡時にサービス料金（修理料金＋利用料）と発送日をご連絡いたします。
・ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
・サービス料金（修理料金＋利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ） 本書のご提示がない場合。
   （ロ） 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ） お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ） 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ） 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト） 消耗部品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ） 電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ） 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

SHARP

シャープ 1ビット MD ／ CD システム保証書

持込修理

形名	SD-FX20
お客様	ふりがな お名前　　様 ☎ 〒 ご住所
取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間	お買いあげ日　年　月　日より **本体は1年間** ただし消耗品は除く

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

シャープ株式会社

〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22-22
電　話　(06) 6621-1221(大代表)

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　89 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム　〒329-2193
事業本部　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in China
TINSJA012SJZZ
05B N HK ④

TOP
BOTTOM
SD-FX20
1ビットMD/CDシステム
SHARP